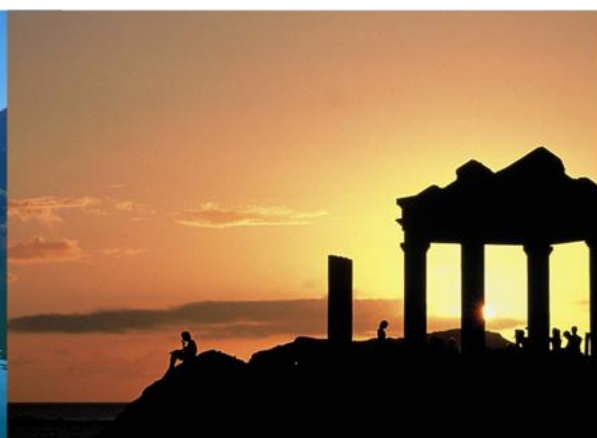


令和 7 年度事業報告



TCVB

公益財団法人 東京観光財団



令和7年度 事業報告

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業……………4

- (1) 市場動向調査
- (2) アイコン等を活用したプロモーション
- (3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション
- (4) 高付加価値旅行者向けプロモーション
- (5) 東京観光レップの運営
- (6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション
- (7) 日本各地とのインバウンド誘客促進
- (8) 世界自然遺産を活用した観光振興
- (9) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興
- (10) 青少年の教育旅行受入促進事業
- (11) 成長見込市場等における PR の推進
- (12) メタバースを活用した観光 PR
- (13) 国際的なイベントを活用した観光 PR
- (14) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR
- (15) 山形県との連携による女性の視点を活かした観光振興
- (16) 東京をゲートウェイとした日帰り旅行の魅力発信
- (17) 自治体等と連携した観光促進
- (18) 江戸を感じる観光の魅力発信
- (19) 各種情報の発信、共有及びネットワークの拡大

2 コンベンション誘致に関する事業……………8

- (1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営
- (2) MICE マーケティング戦略の構築
- (3) ビジネスイベント情報発信の展開
- (4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化
- (5) 国際会議誘致・開催支援事業
- (6) 企業系イベント誘致・開催支援事業
- (7) イベント等誘致・開催等支援事業
- (8) 島しょ地域における MICE 誘致促進事業
- (9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業
- (10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置
- (11) ユニークベニューの魅力発信
- (12) ユニークベニュー利用促進事業
- (13) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援
- (14) ユニークベニュートライアル開催支援
- (15) MICE 拠点育成支援事業
- (16) MICE 施設の受入環境整備支援
- (17) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (18) 次世代型 MICE の推進
- (19) 環境配慮型 MICE の推進
- (20) ビジネスイベント専門人材育成
- (21) サステナブル MICE 発信

3 地域の観光振興に関する事業……………17

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 魅力を高める観光資源の開発
- (3) 観光まちづくりの支援事業の実施

- (4) 東京フィルムコミッション事業
- (5) 東京シティガイド検定（通称 東京検定）の実施
- (6) 被災地応援ツアーの実施

4 観光産業の支援に関する事業…………… 29

- (1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営
- (2) 観光産業の活性化
- (3) 受入環境インフラの整備

5 観光情報の発信に関する事業…………… 31

- (1) ウェブサイトによる情報発信
- (2) 東京ブランドの推進事業
- (3) ウェルカムカードの作成
- (4) 多様な文化・習慣を持つ外国人旅行者向けパンレットの作成
- (5) 観光ボランティアの管理運営
- (6) 多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）の運営
- (7) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営
- (8) 東京観光情報センター等の管理運営
- (9) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援

6 広報・調査研究に関する事業…………… 37

- (1) 財団コーポレートサイトでの情報発信
- (2) 共同研究・アドバイザリー会議の実施
- (3) 「持続可能な観光」への貢献

7 その他事業…………… 39

- (1) 大阪観光局との連携
- (2) 後援
- (3) 委員会への参加

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業…………… 40

2 テキスト販売事業…………… 40

3 物品等販売事業…………… 40

4 Old meets New 東京街歩きツアー事業…………… 40

III その他事業（相互扶助等事業）

1 賛助会員に関する事業…………… 40

- (1) TCVB ミーティングの開催
- (2) 賛助会員交流会の開催
- (3) 会員施設視察交流会等の開催
- (4) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信
- (5) TCVB レポートでの情報発信

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 市場動向調査 <東京都出捐金事業>

訪都外国人旅行者の増加を目指して効果的に観光プロモーションを実施していくため、プロモーション対象地域及び新規市場等において、各市場における旅マエの行動や興味・関心等を把握し、各種プロモーションの効果的な実施につなげた。

(2) アイコン等を活用したプロモーション <東京都出捐金事業>

企業との企画商品の開発支援、キャラクターを活用したマナー啓発 PR ツール、アイコンを活用した PR グッズ及び PR 映像など、東京ブランドを活用した多様なプロモーションツールの制作を実施したほか、民間での東京ブランドアイコン等の利用管理を行う管理事務局の運営を行い、東京ブランドの訴求を図った。また、ブランドウェブサイトや各種 SNS、空港等の屋外広告、及びイベント等を通じて上記のツールを活用したプロモーションを展開し、世界の旅行者に東京の魅力を効果的に訴求し、訪都旅行者の増大を図った。

(3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション <東京都出捐金事業>

海外市場に向けて「旅行地としての東京」を印象づけ、効果的に世界の旅行者に東京の魅力を訴求していくため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映実施、観光レップを活用したプロモーション、世界有数の観光都市との相互 PR を行った。

ア オンライン広告

動画広告や SNS 広告等のオンライン広告において、過年度制作の PR 映像やオンライン広告に特化した動画素材等を制作・活用し、東京の多様な魅力を発信することで、東京ブランドの PR を図った。

イ テレビ CM の放映等

CNN International, Euronews といった世界規模のテレビ局のネットワーク等において、訪都外国人旅行者の増大を目的に東京の PR 映像等やタイアップ番組を放映し、東京の魅力を訴求した。

ウ 世界有数の観光都市との相互 PR

世界有数の観光都市である米国ニューヨークと相互に連携し、広告媒体等を通じて両都市の魅力を一般市民向けに PR した。旅行目的地としての各都市の認知度を高め、都市間の旅行者の増加を図った。

(4) 高付加価値旅行者向けプロモーション <東京都出捐金事業>

より多くの観光消費が期待できる高付加価値旅行者を対象に、プロモーションを実施した。高付加価値旅行に特化した旅行会社、コンサルタント等が加盟する国際組織を活用して、当該市場における東京の存在感を高めるとともに、欧米豪・アジア・中南米での商談会等への出展、高付加価値旅行者向けコンテンツの整備・発信活動や関連事業者向け講座・視察等を行った。

注) 参加を予定していた中東における商談会については、中東情勢の変化に伴い延期となった。

(5) 東京観光レップの運営 <東京都出捐金事業>

北米 3 市場 (アメリカ (NYC、LAX)・カナダ)、欧州 5 市場 (イギリス、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス)、豪州、アジア 4 市場 (中国・韓国・台湾・マレーシア (シンガポール・タイ含む)) に東京観光レップを設置し、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。

(6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション <東京都出捐金事業>

市場の特性に応じた観光プロモーションを行うことで外国人旅行者誘致を促進した。

ア オンライン商談プラットフォーム

本プラットフォームにおいて、都内観光事業者が現地事業者とのネットワーク構築を図る機会を確保するとともに、旅行先としての東京の魅力を効果的に発信した。

イ 訪問営業

都内事業者と連携して現地へ訪問し、有益な商談を実施してネットワーク強化を図る機会を確保するとともに、東京への送客を促進するため、旅行先としての東京の魅力を紹介した。

- ・バンコク、クアラルンプール（令和7年7月1日、3日）
- ・台中、台北（令和7年9月9日、10日）

ウ 東京観光レップ主催旅行事業者向けセミナー

東京観光レップを設置している市場において、現地旅行事業者、メディア等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。

- ・セミナー実施件数：20件

エ 旅行博・商談会

都内事業者と連携して市場別の旅行博・商談会や、全世界の市場を対象とする三大国際旅行博へ参加し、東京観光情報の提供やPRを行うとともに、都内事業者のネットワーク機会の構築を図った。

① 旅行博等

- ・オーストラリア Japan Travel Show by ANA（令和7年8月21日）
- ・マレーシア MATTA FAIR（令和7年9月5日～7日）
- ・中国 広東国際観光産業博覧会 CITIE（令和7年9月12日～14日）
- ・フランス IFTM Top Resa（令和7年9月23日～25日）
- ・オーストラリア TADA（令和7年10月2日）
- ・イタリア TTG リミニ（令和7年10月8日～10日）
- ・インドネシア ITE（令和7年10月20日、23日）
- ・イギリス World Travel Market（令和7年11月4日～6日）
- ・カナダ Salon international Tourisme Voyage（令和7年11月7日～9日）
- ・台湾 ITF 台北国際旅行博（令和7年11月7日～10日）
- ・タイ FIT Fair（令和7年11月21日～23日）
- ・スペイン FITUR（令和8年1月21日～25日）
- ・アメリカ New York Travel & Adventure Show（令和8年1月24日～25日）
- ・カナダ The Outdoor Adventure & Travel Show（令和8年2月28日～3月1日）
- ・ドイツ ITB Berlin（令和8年3月3日～5日）
- ・アメリカ Los Angeles Travel and Adventure Show（令和8年3月7日～8日）

② JNTOによる現地商談会

- ・ベトナム（ハノイ・ダナン）（令和7年7月2日、4日）
- ・フィリピン（マニラ）（令和7年9月16日）

オ 東京ニュース

メディアや旅行事業者を対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。

- ・年間12回、各月

カ 海外メディアサポート

東京を紹介する魅力的な記事や映像配信の促進を図るため、海外メディアの取材をサポートした。

- ・サポート件数：32件

キ 民間企業とのジョイントプロモーション

海外の現地市民等に対し東京の魅力をPRするため、民間事業者との共同出資によるジョイントプロモーションとして、以下2件を実施した。

- ・株式会社エイチ・アイ・エス パリ支店との連携により、イラスト画が現地で人気のマテウシュ氏による東京の商店街の書きおろし画の展示会や、東京の食文化を紹介

するワークショップ及びイベントを実施し、参加者をはじめ、特設サイトやインフルエンサー等を通して東京の多様な魅力を PR した。

・株式会社朝日新聞社とタイアップし、東京の街歩きを体験できるバーチャルリアリティコンテンツを制作し、インドネシア・ジャカルタ中心部の会場において 40 日間のイベントを実施。インフルエンサー等によるイベント周知や、現地メディアを活用した事業紹介、東京の人気スポットを含む記事等を英語/インドネシア語で発信し、東京の魅力を PR した。

ク エージェント招聘（新規）

東京観光レップ設置市場の有力な旅行事業者等を東京へ招聘し、東京を含む旅行商品の販売や商品造成の促進を図るファミトリップを実施するほか、都内事業者と海外事業者とがネットワーク構築を図ることができる商談会やレセプション等を開催した。また、全レップによる海外市場セミナーと市場別相談会を併せて開催した。

・被招聘者数：45 名

・商談会・セミナー・相談会参加者数：延べ 258 名

ケ シティプロモーション（新規）

観光消費額が高く、観光による経済波及効果の高いオーストラリア 2 都市を訪問し、都内事業者と連携して商談会や現地旅行事業者向けセミナーを開催した。

・開催都市：シドニー、メルボルン（令和 7 年 8 月 5 日、7 日）

・都内事業者参加者数：各都市 20 社/団体

・現地旅行事業者参加者数：84 社/団体

(7) 日本各地とのインバウンド誘客促進（新規） ＜東京都負担金事業＞

東北、北陸、東海、関西、中国・四国、九州地方の自治体や航空・鉄道事業者等と連携し、ウェブサイトの運営を行った。また、6 地方に対して欧米豪市場から 3 名ずつのメディアまたはインフルエンサーを招いた招聘旅行の実施、オンライン広告、メディアを活用した情報の発信、都内外国人旅行者向け広報の実施、パンフレット制作等により、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

(8) 世界自然遺産を活用した観光振興 ＜東京都負担金事業＞

小笠原諸島と同様、世界自然遺産登録地が存在する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県と連携し、共同ウェブサイトの運営、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTA を活用した PR 等、世界自然遺産の知名度やブランドイメージを活用したオンラインプロモーションを実施した。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地交流会（白神山地）、シンポジウム及び商談会を実施した。

・商談会（大阪）：令和 7 年 6 月 4 日

セラー 14 団体、バイヤー 14 社、商談件数 49 件

・現地交流会：令和 7 年 10 月 6 日～9 日

セラー 13 団体、バイヤー 12 社

・シンポジウム（東京）：令和 8 年 1 月 28 日（オンライン開催）

＜オンライン＞当日視聴者 312 名

・商談会（東京）：令和 8 年 1 月 29 日

セラー 12 団体、バイヤー 15 社、商談件数 69 件

(9) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興 ＜東京都負担金事業＞

国内で実施される国際スポーツ大会の機会を活用し、東京及び東京以外の会場も含めた各地の観光情報を発信し、観戦客の東京及び日本各地への観光促進を図った。東京 2025 世界陸上、東京 2025 デフリンピックの特設ページの充実を図るとともに、2026 年に愛知県で開催される第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の情報発信を新たに行った。

(10) 青少年の教育旅行受入促進事業 ＜東京都出捐金事業＞

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、海外有望市場で実施される相談会等に参加し、現地教育関係者へPRを行った。併せて、ウェブサイトに掲載する情報を拡充して国内外教育旅行の受入に向けたPRを行ったほか、教育旅行を活用した都内学生の地域理解促進に向けた取組を行った。

- ・受入意識調査の実施（回答数 247 件）
- ・受入説明会の実施（オンライン・15 校 15 名参加）
- ・個別説明の実施（12 件）
- ・学校交流の実施・支援（13 件）
- ・有望市場向け相談会・意見交換会参加

①台湾：「2025 年度台湾における訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会」参加（JNTO 主催：令和 7 年 6 月 10 日、11 日 台北、高雄）

②台湾：「2025 年度台湾における訪日教育旅行促進事業日台教育旅行関係者意見交換会」参加（JNTO 主催：令和 7 年 10 月 21 日 東京）

(11) 成長見込市場等における PR の推進 <東京都出捐金事業>

世界に開かれた観光都市・東京としてのプレゼンスを高めるため、より幅広い国・地域からの誘客促進の観点で新規市場の開拓と今後訪都旅行者の増加が見込まれる地域として、インド、インドネシア、フィリピン、サウジアラビアにて、屋外・交通広告、現地有力メディアや OTA 等を活用し、さらにタイを加えた各市場から有力インフルエンサーを招へいし、東京の魅力を発信、訪都意欲を喚起するプロモーションを実施した。

また、日本のアニメ人気の高まりをとらえ、UAE においてアニメーションをフックとした現地市民向けイベントを実施し、東京の魅力を訴求した。

(12) メタバースを活用した観光 PR <東京都出捐金事業>

若年層やファミリー層を主なターゲットとして、世界中に多くのユーザーを有するメタバース空間を活用し、東京観光を疑似体験できる体験型ゲームや AR Web アプリとの連動により、実際の訪都旅行につながる仕掛け等を工夫し、観光地としての東京の PR を実施した。

(13) 国際的なイベントを活用した観光 PR <東京都出捐金事業>

国内で開催された 2 つの国際的なスポーツ大会「東京 2025 世界陸上」「東京 2025 デフリンピック」の機会を活用し、大会会場でのアイコン掲出や、主要駅・空港等において観光都市としての東京の魅力を効果的に訴求する広告等を掲出した。併せて、メダリストや大会関係者に提供するための東京観光を想起するギフトを制作し、大会視聴者や現地観戦者及び大会関係者等に対し、東京ブランドの認知及びロイヤルティの向上と、更なる訪都旅行の興味喚起を図った。

(14) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR <東京都負担金事業>

東京 2020 大会が開催された近隣県（埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県）と連携し、大会のレガシーを活用した東京と近隣県の観光ルートの設定、海外及び在京のインフルエンサーや旅行会社計 10 名を招いた共同招聘の実施、ウェブサイトの運営、オンライン広告及び外国人旅行者のタッチポイントとなる場所での広告の実施、OTA 連携等の海外向け観光プロモーションを実施し、域内への訪日及び訪都外国人旅行者の周遊促進を図った。

(15) 山形県との連携による女性の視点を生かした観光振興 <東京都負担金事業>

山形県と連携し、女性の目線を活かした観光情報の発信等により、東京及び山形県双方への観光の推進を図った。ウェブサイト運営、オンライン広告の実施、記事広告出稿、インフルエンサーを活用した SNS による情報発信、デジタルツールを活用した BtoC・BtoB イベントの実施等、東京及び山形県双方への旅行を喚起する共同プロモーションを実施した。

(16) 東京をゲートウェイとした日帰り旅行の魅力発信 <東京都負担金事業>

インフルエンサーの招聘により東京に滞在しながら都外の観光地へ足をのばす旅行スタイルの発信等を行い、東京から日本各地への送客や持続可能な都内観光の推進を図った。海外及び在京のインフルエンサーを計6名招聘すると共に、ウェブサイトの更新及びSNS等による情報発信を実施した。

(17) 自治体等と連携した観光促進 <東京都負担金事業>

外国人旅行者の多様化するニーズに応じてインバウンド需要を取り込んでいく必要性から、これまで東京と連携事業を実施していない、又は、連携意欲の高い自治体（北海道、青森県、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、山梨県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県）とタイアップし、オンラインプロモーションやファムトリップ、OTA連携など、共同で双方への送客を図る観光プロモーション等を実施した。

また、北陸新幹線沿線の自治体等が連携したグランドサークルプロジェクトへの参画や、関東広域観光機構と連携した共同プロモーション事業の実施を通じて、広域的な連携による観光の推進を図った。

(18) 江戸を感じる観光の魅力発信（新規） <東京都負担金事業>

約100件の観光スポット、モデルコース、動画コラム等をはじめ、外国人旅行者に人気の高い全国各地の江戸を感じる観光地に関する情報を一覧性をもって発信するウェブサイトを構築し、東京と日本各地双方への外国人旅行者の誘致促進を図った。

(19) 各種情報の発信、共有及びネットワークの拡大

日本政府観光局（JNTO）等が実施するセミナーや商談会等へ参加し、市場動向の把握や現地でのネットワーク拡大等を図る。

2 コンベンション誘致に関する事業

東京開催コンベンションの実績

- ・国内基準（日本政府観光局「2024年国際会議統計」）
会議開催件数 371 件 国内都市別順位 1 位
- ・国際基準（国際会議協会（ICCA）統計 2024）
会議開催件数 97 件 国際都市別順位 16 位

(1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営 <東京都補助金事業>

ア 東京都 MICE 連携推進協議会の設置

財団が主体となり、国や事業者等の様々な関係主体と連携を図り、より効果的にビジネスイベントを誘致・開催するため、MICE 連携推進協議会並びに拠点、サステナビリティ、魅力発信及び次世代型 MICE の各部会を実施した（計 10 回）。

イ MICE シンポジウムの開催

MICE 関連事業者や都民にビジネスイベント誘致・開催の意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムやセミナーを開催した。

- ・令和7年度東京都 MICE セミナー
開催日：令和7年10月14日
会 場：AP 新橋
テーマ：テクノロジーで会議が変わる！スマート運営のすすめ
参加者：106 名
- ・令和7年度東京都 MICE シンポジウム
開催日：令和8年2月4日
会 場：観世能楽堂
テーマ：国際的な会議・イベントを誘致・開催する魅力とは!!
参加者：240 名

(2) MICE マーケティング戦略の構築 <東京都受託事業>

ア 東京都 MICE 誘致戦略見直しに向けた調査等

今後の戦略的な施策展開に向け、海外における MICE 誘致施策を把握するための調査及び分析を実施した。

イ 事業効果測定及び施策の検証等

企業系イベント、国際会議、展示会・イベントの具体的施策の効果を測定し、より効果的な誘致活動の実施につなげた。また、日本政府観光局（JNTO）等が公表する国際会議データとして提供するため、都内で開催された国際会議について、会議名や主催者名、参加者数等の調査を実施した。以上の結果を踏まえ、より実効的な施策への見直しを図った。

注）企業系イベントとは、企業系会議及び報奨旅行等の総称。

(3) ビジネスイベント情報発信の展開 <東京都補助金事業>

ア ビジネスイベント開催に係る情報発信

国内外の主催者・プランナーに対し、東京でのビジネスイベント開催に必要な情報や東京の都市の魅力等をウェブサイトで PR し、東京への誘致を促進した。

海外のプランナーやプレスに対し、「Business Events Tokyo Newsletter」を年間 4 回配信した。さらに、海外のプレスに対しては、東京のビジネスイベント最新情報をプレスリリースの形で配信した。

イ 広告掲載による PR 強化

① 企業系ビジネスイベント

ビジネスイベントの専門誌が運営するウェブサイト等に、東京の魅力を PR するバナー広告等を掲載し、東京へのビジネスイベント誘致を促進した。

- ・South China Morning Post 年 1 回（バナー広告）
- ・The Straits Times 年 1 回（バナー広告）
- ・TTG mice 年 2 回（バナー広告）

② 国際会議

国内外の学術研究誌等を活用し、国際会議誘致・開催関連事業の周知を目的とした広告掲載を行った。

- ・経団連タイムス 年 6 回（紙面広告）
- ・日本の研究.com 年 2 回（バナー広告）
- ・日経メディカルオンライン 年 3 回（バナー広告）
- ・Headquarters Magazine 年 2 回（バナー広告）

また、規模の大きな国際会議の開催について、海外ビジネスイベント専門誌等に記事広告を掲出し、東京の最新の支援内容や国際会議開催都市としての魅力を PR した。

- ・TTG mice（オンライン媒体）
- ・Reuters（オンライン媒体）

③ サステナビリティ

ビジネスイベントにおけるサステナビリティに配慮した取組を提案するショーケースイベントを取り上げた記事広告を掲出し、環境に配慮したビジネスイベント都市としての東京の魅力を訴求した。

- ・日経ビジネス 年 1 回（オンライン媒体）

④ ユニークベニュー

都内のユニークベニューとその利活用を取り上げた記事広告等を以下の媒体に掲出した。

- ・国内：日経ビジネス年 1 回（紙媒体）
日経ビジネス電子版年 1 回（オンライン媒体）
- ・海外：TTG mice 年 1 回（オンライン媒体）
GDN を活用したオンラインバナー広告 4 ヶ月程度

ウ ファムトリップ

主催者に対して開催候補地のリストアップや開催地決定に関する提案等を行う立場にある、アジアパシフィックエリアからのミーティングプランナーに向けて、開催都市としての東京の魅力や支援内容を効果的に PR し、東京でのビジネスイベント開催の拡大を図った。

実施期間：令和 7 年 8 月 25 日～29 日 参加者：ミーティングプランナー10 名

テーマ：多摩地区を中心とした新しい東京の再発見

エ 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築

海外ミーティングプランナー等と連携体制を構築することで、現地における誘致案件や優良顧客情報等を収集するとともに、現地での東京 PR を実施した。また、海外ミーティングプランナーと都内事業者のネットワーク構築及び情報交換の場としてクライアントイベントを開催し、東京でのビジネスイベント開催を促した。

- ・ラスベガス

開催日：令和 7 年 10 月 7 日

会場：フォーシーズンズホテル

参加者：ミーティングプランナー34 名、都内事業者 12 名

- ・ハノイ

開催日：令和 8 年 2 月 4 日

会 場：Movenpick Hanoi

参加者：ミーティングプランナー34 名、都内事業者 13 名

オ 海外拠点による国際会議主催者とのネットワーク構築

国際団体本部が多く所在する北米と欧州にセールス機能を持つ事業者と連携体制を構築し、国際団体本部に対し、直接的かつ継続的に国際会議都市東京の PR や誘致活動・情報収集等を行うとともに、セールス活動を実施した。また、国際会議都市東京の PR や誘致活動の一環として、国際団体本部やコア PCO を招待し、プロモーションや商談を行うビジネスマッチングイベントを開催した。

- ・ブリュッセル

開催日：令和 8 年 1 月 13 日

会 場：AKAI

参加者：国際団体本部担当者等 16 名

- ・モンテリオール

開催日：令和 7 年 12 月 3 日

会 場：Vogue Hotel

参加者：国際団体本部担当者等 15 名

カ 効果的なプロモーションのためのツール整備

東京都が指定するビジネスイベント先進エリア及び重点支援エリアの認知度向上を図るため、各エリアを PR するウェブサイトの更新及びウェブサイトへの案内広告の配信を行った。また、オンライン誘致ツール（バーチャルサイトビジット）の運営保守・更新を行った。

キ 海外トレードショーへの出展

官民連携による「ALL TOKYO」でのプロモーションを展開するため、欧州の IMEX Frankfurt 及び IBTM World、北米の IMEX America、アジアパシフィックの AIME に都内ビジネスイベント関連事業者と共同出展を行った。

- ・IMEX Frankfurt

会 期：令和 7 年 5 月 20 日～22 日

会 場：フランクフルト・Messe Frankfurt

- ・IMEX America

会 期：令和 7 年 10 月 7 日～9 日

会 場：ラスベガス・Mandalay Bay

- ・IBTM World

会 期：令和 7 年 11 月 18 日～11 月 20 日

会 場：バルセロナ・Fira Barcelona Gran Via

・AIME

会 期：令和 8 年 2 月 9 日～11 日

会 場：メルボルン・Melbourne Convention and Exhibition Centre

ク SNS の運用

SNS を活用し、ビジネスイベント主催者、関連事業者等へ継続的な情報発信を実施した。

ケ MICE 向け誘致・参加促進用プロモーション映像制作

MICE 誘致を推進するため、開催都市東京の魅力や強みを効果的に発信することを目的として、国際会議(C)の海外主催者向け、企業系会議及び報奨旅行(MI)を主催するミーティングプランナー向け、ならびに MICE 参加予定者向けの 3 つのプロモーション映像を制作した。

(4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化 <東京都補助金事業>

海外諸都市との熾烈な国際競争を勝ち抜くため、海外先進都市で組織される国際的アライアンス「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」に東京として加盟し、各種情報収集を行い、ビジネスイベントの開催地としての東京のプロモーションに役立てた。

また、その他ビジネスイベント関連団体等の総会や研修会へも 3 名の職員を参加させ、海外のビジネスイベント関連団体との接点の増加を図り、情報収集や誘致活動につなげた。

加えて、海外の国際機関・企業等へ 3 名の職員を派遣し、誘致・開催に係るノウハウ習得等、国際競争の最前線を経験させるとともに、当該団体等と新たな関係性を構築した。

(5) 国際会議誘致・開催支援事業 <一部東京都受託・出捐金事業>

ア 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング及びプロモーション活動

・開催意向調査の実施

国内の学協会及び東京周辺の主要大学のキーパーソンを対象に、国際会議の開催意向調査を実施した。

・会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内学協会等に対し、国際会議開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

・国内見本市への出展

日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）が主催する「第 35 回国際ミーティングエキスポ（IME2026）」（令和 8 年 2 月 12 日）に出展し、商談を行った。

・国内都市選定に向けた誘致活動

国内都市選定に向けて、「国際会議都市・東京」の優位性をアピールするプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

・海外会議主催者等の視察支援

会議主催者等海外のキーパーソンを国内主催者が招聘する際などに、都内会議施設の視察、関連事業者の紹介、観光スポットの紹介、財団の支援策の案内等を通じて支援し、東京での開催を促進した。

・開催都市決定への支援活動

東京開催の意義が大きい重要な国際会議については、ビッドペーパー（立候補書類）や誘致ツール等の作成支援のほか、開催地決定権限のある委員への直接セールスや海外での総会等において東京のアピールを行い、東京での開催決定を促進した。

イ 国際会議開催支援 <一部東京都受託事業>

① 参加促進への支援活動 <東京都受託事業>

東京開催が決定した大規模国際会議について、その前回大会開催時に会場に東京ブースを設置するなどして、開催地としての東京の情報提供や東京の魅力のアピールをすることにより、海外関係者の参加促進を図った。

- ・ 44th International Conference on Ocean, Offshore & Arctic Engineering (OMAE 2025)

会 期：令和 7 年 6 月 22 日～27 日

場 所：バンクーバー

- ・ AVMA Convention 2025 / 40th World Veterinary Association Congress

会 期：令和 7 年 7 月 18 日～22 日

場 所：ワシントン D.C

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議等について、宣伝ツールの提供、観光やユニークベニュー利用に関する情報提供等を行い、主催者を支援した。

③ 国際会議開催支援プログラム <東京都受託事業>

東京で開催される国際会議の中で一定の要件を満たすものに対し、開催時に都内観光ツアーや日本文化体験プログラム等、参加者が東京の魅力やホスピタリティを体験できるような支援プログラムを実施した。

- ・ Asian Society of Gynecologic Oncology 2025

会 期：令和 7 年 7 月 17 日～19 日

- ・ 品質国際会議'25 (ICQ2025)

会 期：令和 7 年 9 月 1 日～4 日

④ 観光ボランティアを対象とした国際会議向けの研修 <東京都受託事業>

東京で開催される国際会議の主催者の負担軽減を図るため、会議に英語対応可能な観光ボランティアをスタッフとして派遣した。また、観光ボランティアに対し、国際会議の海外参加者を案内するために必要な知識やマナー等の研修を実施した。

- ・ 第 23 回世界災害救急医学会

会 期：令和 7 年 5 月 3 日～6 日

- ・ 品質国際会議'25 (ICQ2025)

会 期：令和 7 年 9 月 1 日～4 日

- ・ 国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR) リアルワールドエビデンスサミット 2025

会 期：令和 7 年 9 月 28 日～30 日

ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業 <東京都出捐金事業>

① 国際会議誘致支援

東京都への国際会議の誘致を予定する 6 団体に対し、誘致活動に要する経費を助成する誘致助成金の交付を決定した。

② 国際会議誘致・開催支援

国際会議開催助成の交付対象会議として、42 件の国際会議を登録した。また、30 件の開催地が東京に決定した。

<主な東京開催決定会議>

- ・ ワン・ヤング・ワールド サミット 2027 (2027 年開催、参加者約 2,000 名)

- ・ 2028 年世界弁護士連合会年次大会 (2028 年開催、参加者約 1,500 名)

(6) 企業系イベント誘致・開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>

ア 商談会への参加

国内外の商談会等に参加し、東京のビジネスイベントに関する最新情報や企業系ビジネスイベント開催のための支援等について情報提供を行った。

- ・ VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024 会期：令和 7 年 9 月 25～27 日

イ 企業系イベント誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している8件の企業系ビジネスイベントの主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察コースの設定や都内サプライヤーの紹介等を行った。

- ・美容系企業インセンティブツアー（令和7年7月・3,000名・メキシコ）
- ・食品企業インセンティブツアー（令和7年8月・1,200名・台湾）等

ウ 企業系イベント開催支援事業 <東京都補助金事業>

東京で開催された74件の企業系ビジネスイベントの主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港での出迎え等の支援を提供した。

- ・美容系企業インセンティブツアー（1,405名・マレーシア）
- ・食品企業インセンティブツアー（1,237名・台湾）等

エ 企業系イベント開催支援メニュー開発 <東京都受託事業>

海外のミーティングプランナー等と連携し、東京ならではの特別感のあるコンテンツを4件開発し、メニュー化した。また、新たに開発したプログラムを紹介する動画を制作し、PRツールとして活用した。

(7) イベント等誘致・開催等支援事業 <東京都受託・出捐金・補助金事業>

ア 展示会における海外参加促進支援 <東京都補助金事業>

東京で開催される展示会の国際化を促進するため、2件の展示会主催者に対し、当該展示会の海外へのPRやバイヤー誘致、開催時の通訳手配等に係る経費を助成した。

- ・センター トーキョー
- ・ASIAN VEGAN CONNECT in JAPAN

イ イベント等開催支援プログラム

① イベント等誘致支援事業 <東京都出捐金事業>

申請なし

② イベント等開催支援事業 <東京都受託事業>

東京で開催される大規模国際イベント等に対し、開催時に都内観光ツアーや日本文化体験プログラム等、参加者が東京の魅力やホスピタリティを体験できるような支援プログラムを実施した。

- ・SusHi Tech Tokyo 2025
- ・東京2025世界陸上競技選手権大会
- ・第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025

(8) 島しょ地域におけるMICE誘致促進事業 <東京都受託・出捐金・補助金事業>

ア 島しょ地域におけるMICE誘致・開催資金助成等事業 <東京都出捐金事業>

① MICE誘致支援

申請なし

② MICE誘致・開催支援

申請なし

イ 島しょ地域におけるMICE開催に向けたプロモーション <東京都補助金事業>

MICE主催者やミーティングプランナー等に対し、島しょ地域でのMICE開催を促進するため、MICE関連事業者と連携して国内都市を訪問するロードショーや、島しょ地域でのファムトリップ等のプロモーション活動を実施した。

- ・セールスコール 1回（オンラインでの実施）
- ・ロードショー 2回（東京・名古屋にて実施）
- ・ファムトリップ 1回（大島にて実施）

ウ 「島しょ地域へのMICE誘致のモデル地区」への支援 <東京都受託事業>

島しょ地域で会議施設や宿泊施設が比較的充実している八丈島を「島しょ地域へのMICE誘致のモデル地区」とし、観光協会をはじめとした地元関係者等による受入体制構築に向けた支援を実施した。

また、八丈島以外の島しょ地域に対し、体制構築に向けた支援を行うべく、大島の観光協会をはじめとした地元関係者との意見交換会を実施した。

(9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業 <東京都出捐金事業>

申請なし

(10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置 <東京都受託事業>

ア ユニークベニューワンストップ総合支援窓口の問い合わせ対応業務

ユニークベニュー利用希望者に対し、豊かな知見に基づくコンサルティングによる適切な施設の紹介、特別感を演出できるイベントの企画提案、利用施設等との調整の支援、都内 MICE へのホスピタリティデスク提供の機会を活用したユニークベニューの PR 等を行うワンストップ総合支援窓口を設置・運営し、利用者と施設のマッチングを推進した。

イ ワンストップ総合支援窓口と施設間の連携体制構築

ワンストップ総合支援窓口と施設、また、施設間が連携してユニークベニュー事業を推進していくため、情報共有や意見交換、事業への理解促進に向けた機会を 2 回提供した。

(11) ユニークベニューの魅力発信 <東京都受託・補助金事業>

ア 東京ユニークベニューショーケースイベントの実施 <東京都補助金事業>

都内ユニークベニューの魅力や活用方法、課題への対応方法等を幅広く発信・訴求するため、多様な活用方法を提案できるショーケースイベントを実施した。

- ・実施日：令和 8 年 1 月 20 日
- ・会 場：キッザニア東京
- ・参加者：197 名

イ ユニークベニュー専用ウェブサイトの管理・運営 <東京都受託事業>

海外の MICE 主催者や DMC 等に向けたユニークベニュー専用ウェブサイトの情報更新を行い、都内ユニークベニューの更なる利便性の向上と利用促進を図った。

(12) ユニークベニュー利用促進事業 <東京都補助金事業>

ユニークベニューについて、利用者の負担軽減を図り、海外都市との誘致競争を有利に進めるため、ユニークベニューを利用したイベントやレセプション等を行う主催者に対し、会場設営支援を 11 件行った。

- ・ FY2025 アワード受賞パーティー
実施日：令和 7 年 8 月 29 日
会 場：浅草花やしき
- ・ HARUNOBU MURATA 26SS
実施日：令和 7 年 9 月 2 日
会 場：テレコムセンター
- ・ SK-II SPX engagement session
実施日：令和 7 年 12 月 1 日
会 場：東京国立博物館 等

(13) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援 <東京都出捐金事業>

ユニークベニューの会場となる施設を対象に、イベントやレセプション等の開催に必要な設備の導入を 1 件支援した。

(14) ユニークベニュートライアル開催支援（新規） <東京都補助金事業>

施設や施設が属する MICE 拠点が実際にトライアルとして開催するユニークベニューショーケースイベントの開催経費を 2 件支援した。

- ・ 日本橋 MICE ショーケース 2025～THE BRIDGE OF TOKYO's OLD AND NEW～
実施日：令和 7 年 10 月 30 日
会 場：福德の森、仲通り
- ・ MICE NEXT STAGE in TOYOTA ARENA TOKYO

実施日：令和 7 年 11 月 11 日
会 場：TOYOTA ARENA TOKYO

(15) MICE 拠点育成支援事業（一部新規） <東京都受託・出捐金事業>

- ア 東京ビジネスイベント先進エリア・多摩ビジネスイベント重点支援エリア支援事業
 <東京都出捐金事業>
 東京都が選定した東京ビジネスイベント先進エリア及び多摩ビジネスイベント重点
 支援エリアの受入体制を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた支援を
 行った。
- イ 都内 MICE 拠点を活用したブレジャー需要への対応 <東京都出捐金事業>
 申請なし
- ウ 都内 MICE 拠点を活用した地域活性化支援 <東京都出捐金事業>
 開催地域の住民等が当該 MICE へ当事者として直接的・間接的に関わることにより、
 開催意義の理解促進を図るため、都内 MICE 拠点に対し、地域住民参加等に向けた取組
 への段階的な支援を 1 件実施し、持続可能な MICE の開催を促進した。
 ・浜松町・竹芝・芝浦エリア
- エ 都内における MICE 受入環境に関する調査等委託（新規） <東京都受託事業>
 既存の都内 MICE 拠点以外の地域における潜在的な拠点能力を把握するための調査を
 実施し、今後の都内 MICE 受入環境の整備に資する検討を行った。

(16) MICE 施設の受入環境整備支援 <東京都出捐金事業>

申請なし

(17) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進 <東京都補助金事業>

- ビジネスイベントの誘致に向けて、国内 7 都市と連携して共同でプロモーション活動を行
った。
- ・令和 7 年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市、愛知県・名古屋市、沖縄県、
福島県
- ア 企業系イベント主催者向け
 令和 7 年度は以下の都市と連携し、ファムトリップや合同での海外プロモーション等、
 誘致に向けた活動を実施した。
 <共同ファムトリップ>
 ・連携都市：沖縄県
 実施日：令和 8 年 1 月 25 日～31 日
 参加者：ミーティングプランナー 5 名（北米）
 <合同でのプロモーション>
 ・連携都市：愛知県・名古屋市
 開催日：令和 7 年 10 月 7 日
 会 場：フォーシーズンズホテル ラスベガス
 参加者：ミーティングプランナー 34 名
- イ 国際会議主催者向け
 国内の 7 都市と協力し、連携都市のモデルコース等を紹介するウェブサイト「About
Tokyo」を運営した。

(18) 次世代型 MICE の推進 <東京都受託・出捐金事業>

- ア MICE 主催者向けガイドラインの効果検証等 <東京都受託事業>
 主催者向けガイドラインの活用状況についての調査や掲載テクノロジーの追加を行
 った。また、キッザニア東京で開催したユニークベニューショーケースイベントにおい
 て MICE での活用に向けたテクノロジーの実証を行った。
- イ 次世代型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、先端テクノロジーを活用して実施する運営経費等の一部を助成するため、5 件の助成金の交付を決定した。

ウ ハイブリッド型会議等開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、ハイブリッド型会議運営経費等を助成するため、4 件の助成金の交付を決定した。

(19) 環境配慮型 MICE の推進 <東京都受託・出捐金事業>

ア サステナブル MICE サポートデスクの運営 <東京都受託事業>

環境配慮等に精通した専門家を選任し、東京での MICE 開催を予定する主催者 16 団体・企業に対し、環境配慮等の取組について助言を行い、サステナブルな MICE 開催を促進した。

イ 環境配慮型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、環境等サステナビリティに配慮した取組に要する経費の支援を実施するため、8 件の助成金の交付を決定した。

(20) ビジネスイベント専門人材育成 <東京都負担金事業>

ア ビジネスイベント専門人材育成講座（基礎）の実施

ビジネスイベントのグローバルスタンダードを身に付けた専門人材を育成するため、入門編としての MICE 概論のほか、経験豊かな講師による国際会議・企業系イベントやテーマ別講座（テクノロジー、サステナビリティ、展示会・イベント等）をオンラインで実施した（無料）。

・MICE 概論（全 3 回）	令和 7 年 9 月 1 日
・国際機関等が行う国際会議（全 3 回）	令和 7 年 9 月 2 日
・企業等の会議、報奨・研修旅行（全 3 回）	令和 7 年 9 月 3 日
・展示会・イベント等（全 2 回）	令和 7 年 9 月 5 日
・テクノロジーの活用（全 3 回）	令和 7 年 9 月 8 日
・サステナビリティ（全 3 回）	令和 7 年 9 月 9 日

受講者数：延べ 785 名

イ ビジネスイベント専門人材育成講座（実践）の実施

国際会議、企業系イベントの 2 分野を対象に、ビジネスイベントの専門人材育成にノウハウを持つ国際団体と連携して海外講師を招聘し、座学講義に加え、ワークショップやディスカッション等を盛り込んだ人材育成講座を実施した（有料）。

・国際機関等が行う国際会議	令和 7 年 12 月 2 日～3 日
・企業等の会議、報奨・研修旅行	令和 8 年 1 月 13 日～14 日

ウ ビジネスイベントプロフェッショナル人材育成

ビジネスイベント関連事業者に対し、国際団体等が実施する海外の育成プログラムを体験させることに加え、ビジネスイベント関連資格の取得等を支援することにより、世界に通用する人材の育成を支援した。

・Sustainable Event Professional Certificate (SEPC) 1 名

エ 国際会議主催者向け会議誘致に係る東京都ビジネスイベント施策の普及啓発

大学教授等を対象に、国際会議誘致のための東京都のビジネスイベント施策を紹介するパンフレットを改訂し、広く情報提供した。

オ 大学教授への国際会議誘致に係る施策の普及啓発

国際会議の主催者になり得る国内の大学教授・医師等を対象に、東京で開催する会議等におけるブース等の出展を通じて、国際会議の誘致・開催に必要な知識、ノウハウ等を提供するとともに、財団の各種支援策の普及啓発を図った。

・第 87 回日本臨床外科学会学術集会ブース出展 令和 7 年 11 月 20 日～22 日

(21) サステナブル MICE 発信 <東京都補助金事業>

ビジネスイベントにおけるサステナビリティに配慮した取組を推進するためのノウハウ提供や開催方法等を幅広く発信・展開していくため、多様な手法を提案するショーケースイベントを実施した。

- ・東京サステナブル MICE ショーケース
実施日：令和 7 年 11 月 4 日
会 場：TAKANAWA GATEWAY Convention Center
参加者：183 名

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興 <東京都受託・負担金・補助金事業>

ア 「地域支援窓口」の運営

地域（区部、多摩、島しょ）の実情等を勘案しながら、区市町村、観光関連団体、民間事業者、大学等が行う地域の観光振興を総合的に支援する窓口担当を設置し、各種支援策の活用を含めた総合的な提案やサポートを実施した。

- ・観光協会との調整回数 286 件

イ 地域振興助成 <東京都補助金事業>

都内の観光協会等が訪都旅行者の増加を図るために実施するイベント等の観光振興事業に対し、補助金による 4 件の助成を行った。

	申請団体	事業名
1	公益財団法人世田谷区産業振興公社	世田谷ライフ公式 Instagram を活用した「世田谷みやげ」情報発信事業
2	青梅商工会議所	デジタルサイネージ等の活用による『もみじ協定』観光 PR 事業
3	調布市観光協会	『映画のまち調布』の特色を活かした謎解きラリー事業
4	一般社団法人青梅市観光協会	御岳山イラスト周遊マップ作成事業

ウ 出展・交流機会の提供

観光資源の発掘や地域の魅力発信等による地域観光の活性化を図るため、都内観光協会に対し、出展・交流機会を創出した。

- ・一般社団法人港区観光協会、一般社団法人しながわ観光協会における合同水辺部会にて財団事業説明を実施 令和 7 年 5 月 19 日
- ・一般社団法人立川観光コンベンション協会及び東京多摩西部広域経済連携協議会（TTW）の多摩地域における連携事業を支援（東京観光レップへのアンケート実施、パンフレットの多言語化及び増刷）。

エ 観光関連団体・大学等との連携

区市町村が設置する各種委員会等への積極的な参画や、都内及び全国の観光関連団体、大学等と積極的に連携を図り、観光情報の発信等を通じ地域の活性化を促進した。

① 公益社団法人日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の以下の各種会合に参加し情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰を推薦した。

- ・関東ブロック広域観光振興事業推進協議会：令和 7 年 4 月 18 日
- ・総会：令和 7 年 6 月 10 日
- ・関東甲信越静観光協会・連盟協議会
第 1 回：令和 7 年 7 月 4 日、5 日
第 2 回：令和 7 年 10 月 2 日、3 日
第 3 回：令和 8 年 2 月 13 日
- ・関東甲信越静観光協会・連盟協議会担当者会議：令和 8 年 2 月 13 日
- ・公益社団法人日本観光振興協会関東事務局運営会議：令和 8 年 2 月 13 日

② 大学連携

都内の大学等を訪問し、東京観光の魅力を紹介する出張講座等を実施するとともに、財団の職場において学生インターンの受入等を実施した。

- ・出張講義：多摩大学、杏林大学、玉川大学、跡見学園女子大学
- ・学生が考案したツアーの講評：多摩大学
- ・特別講義：テンプル大学（リーダーシップ論）
- ・職場内インターン受入：東京都立大学

オ 全国特産品等の展示紹介事業（一部新規）＜東京都負担金事業＞

全国の特産品を一堂に集めた販売イベントや都内に集積する日本各地の自治体が運営するアンテナショップを周遊するイベント等の開催を通じて、都内消費の拡大と地方への送客の促進につなげた。

① 特産品販売イベント

第1回：令和7年9月6日～9月7日 イオンモールむさし村山

第2回：令和7年9月12日～9月15日 KITTE 丸の内

② アンテナショップ周遊イベント

- ・リアルイベント実施

第1弾：令和7年10月29日～12月14日、イベント参加店舗数 59 店舗

第2弾：令和8年1月8日～2月28日、イベント参加店舗数 59 店舗

- ・オンラインイベント実施

第1弾：令和7年9月6日～12月14日、イベント参加店舗数 55 店舗

第2弾：令和8年1月8日～2月28日、イベント参加店舗数 55 店舗

③ アンテナショップ PR 冊子作成・配布

作成・配布数 第1弾・第2弾各 40,000 部 合計 80,000 部

カ 島しょ地域における観光連携実践プロジェクト＜東京都受託事業＞

東京諸島の連携強化に向け、東京諸島観光連携推進協議会が行う連携実践プロジェクトの運営や、新たな PR ツール、商品等開発の事業実施をサポートした。

キ 世界自然遺産を活用した観光振興＜東京都負担金事業＞【再掲】

小笠原諸島と同様、世界自然遺産登録地が存在する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県と連携し、共同ウェブサイトの運営、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTAを活用した PR 等、世界自然遺産の知名度やブランドイメージを活用したオンラインプロモーションを実施した。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地交流会（白神山地）、シンポジウム及び商談会を実施した。

- ・商談会（大阪）：令和7年6月4日
セラー14 団体、バイヤー14 社、商談件数 49 件
- ・現地交流会：令和7年10月6日～9日
セラー13 団体、バイヤー12 社
- ・シンポジウム（東京）：令和8年1月28日（オンライン開催）
＜オンライン＞当日視聴者 312 名
- ・商談会（東京）：令和8年1月29日
セラー12 団体、バイヤー15 社、商談件数 69 件

ク 観光協会等と連携した観光産業活性化支援事業＜東京都補助金事業＞

都内の観光協会等と連携し、地域の特産品の販売や地域の観光 PR、疑似旅行体験イベントを実施して、東京の観光地としての魅力を効果的に発信し、都民だけではなく、観光で訪れる訪都旅行者の誘客拡大を図り、観光を通じた地域の活性化につなげた。

- ・イベント名：TOKYO 周穫祭 2025
- ・会 期：令和7年11月22日～23日
- ・場 所：東京国際フォーラム
- ・参加者数：53,893 名

(2) 魅力を高める観光資源の開発（一部新規）＜東京都受託・出捐金・補助金事業＞

ア 地域資源発掘型プログラム事業＜東京都出捐金事業＞

観光協会のほか民間企業等、多様な主体が共同で実施する観光資源の発掘や既存の観光資源の磨き上げなどによる特産品の開発やイベント等の誘客の取組を支援し、旅行者誘致につなげた。

	申請団体	事業名
1	多摩市観光まちづくり交流協議会 ・多摩商工会議所 ・多摩センター地区連絡協議会 ・京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター ・多摩センター商店会 ・桜ヶ丘商店会連合会	「東京 2020 大会レガシーを活用した多摩市アイランド風まちバル事業」実施委託
2	東京浅草組合 ・一般社団法人浅草観光連盟 ・一般社団法人奥浅草観光協会	浅草花柳界における「お座敷」体験招待プログラム等の業務委託
3	一般社団法人式根島エリアマネジメント ・一般社団法人式根島観光協会 ・新島村商工会	「式根島独自の「海中温泉」を新たな観光資源に磨き上げるコンテンツ整備業務委託」
4	やさいじん製作委員会 ・JA 東京むさし小金井支店 ・一般社団法人小金井市観光まちおこし協会	やさいじんを活用した小金井市農業体験プロジェクト業務委託
5	【継続補助事業】 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	「小麦の香る街 小平」

イ 旅行博による東京の魅力 PR <東京都受託事業>

ツーリズム EXPO ジャパンに出展し、東京の魅力を効果的かつ積極的に発信した。

- ・会期：令和 7 年 9 月 25 日～28 日
- ・場所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

「シン・江戸さんぽ」をコンセプトに、江戸・東京の歴史、文化を紹介。

（出展内容）特別ゲスト等によるステージイベント、都内特産品の試飲・試食、「江戸」を楽しむワークショップ、江戸・東京の歴史や文化を感じられる観光スポットの紹介等

ウ 多摩地域誘客促進プロジェクト（新規） <東京都受託事業>

魅力ある観光資源が豊富にある多摩地域への誘客のため、地元の観光協会や観光関連事業者等と連携し、全国 5 都市（仙台、東京、愛知、大阪、福岡）において観光プロモーションを実施し、更なる魅力の認知度向上を図った。

エ 多摩・島しょ観光交通促進プロジェクト <東京都補助金事業>

多摩・島しょ地域において移動アクセス手段の更なる充実を図るため、新たな交通サービスの導入など、自治体等が行う交通インフラ整備を支援した。

	申請団体	事業内容
1	神津島村	シェアサイクルの導入
2	小笠原村	シェアサイクルの導入（母島）
3	武蔵村山市	交通用具の活用を促す PR ツールの作成

オ キャッシュレスを活用した島しょ地域誘客促進事業 <東京都出捐金事業>

島しょ地域においてプレミアム付き宿泊旅行商品券（しまぼ通貨）を販売することにより、島しょ地域の PR 及び旅行者の誘客を推進した。令和 7 年度は、販売予定数 12 万セットを令和 7 年 5 月 14 日から 3 期に分けて販売した。

カ 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト <東京都補助金事業>

島しょ地域の町村や観光協会等が実施する、縁結びに関連する観光資源開発や観光資源を活用したイベント、PR 事業等を支援した。

	実施地域	事業名
1	神津島村	神津島村縁結び事業運営委託
2	大島町	伊豆大島の観光資源を活用した縁結び事業

キ 滞在型旅行（ロングステイ）推進事業 <東京都出捐金事業>

地域の暮らしの体験やワーケーション等の滞在型旅行（ロングステイ）に係る新たな取組に対し、費用助成やアドバイザー派遣による支援を実施した。

ク 日本文化を活用した観光振興支援事業 <東京都出捐金事業>

東京にある芸術・音楽・伝統芸能や伝統工芸、神社仏閣や歴史的な建造物等の日本文化を活用したイベントや情報発信等の観光振興の取組を支援することで、持続的な賑わい創出につなげた。

	協議会名	代表申請者	事業名
1	江戸文化体験創出協議会	株式会社 EDO KAGURA	浮世絵版画と日本舞踊 移動型江戸文化ミュージ アム・シアター事業

ケ 多摩・島しょ地域観光課題解決事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域の観光産業の活性化を図るため、観光産業の課題解決に向けた市町村、観光協会等の取組への支援や取組状況の周知を実施した。

	支援対象地域	テーマ
1	神津島村	神津島の持続可能な観光に向けた受入環境整備事業

コ サステナブル・ツーリズム推進事業 <東京都出捐金事業>

観光協会や観光関連事業者等が行うコンテンツ開発やプロモーションなど、多摩・島しょ地域における環境配慮型旅行に係る新たな取組を支援した。また、地域における持続可能な観光まちづくりに係る取組を支援することで、都内のサステナブル・ツーリズムの推進を図った。

① 環境配慮型旅行推進事業

環境配慮型旅行に係る取組に対して費用を助成するとともに、アドバイザー支援及び広報支援を実施した。

② 地域のサステナブル・ツーリズム推進事業

経済・文化・環境等の観点から、持続可能な観光まちづくりを目的として実施する新たな取組を支援した。

	申請団体	事業名
1	新宿サステナブルフェス協議会	新宿サステナブルフェス by 染・着物
2	ぶんぶん協議会	地域の魅力を再発見・ぶんぶんミッションラ リー（テーマ型デジタルスタンプラリー）事業

サ 多摩・島しょアドベンチャーツーリズム推進事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域に豊富にある自然・食等の地域資源を活かした体験型コンテンツの開発・磨き上げを行うなどのアドベンチャーツーリズム推進に係る新たな取組を支援し、多摩・島しょ地域に、自然・文化を深く体感できる目的地として旅行者の来訪・滞在を促し、旅行者による消費機会の拡大を図るため、支援を行った。

	申請団体	事業名
1	こくぶんじ観光まちづくり協会	体験するこくベジ～おいしい畑 1day キャンプ & 周遊ツアー
2	NPO 法人くにたち農園の会	馬と旅する谷保里山ラーニングツアー

シ 多摩・島しょ安定集客促進事業 <東京都出捐金事業>

閑散期の誘客につながるコンテンツの開発やプロモーション等の新たな取組を支援し、年間を通じた安定的な旅行者の誘致を図り、多摩・島しょ地域の観光産業の持続的な発展を図るため、支援を行った。

	申請団体	事業名
1	NPO 法人日の出太陽の家ボラン ティアセンター	冬季閑散期の宿泊客及びインバウンド誘客のた めの東京日の出武家屋敷お茶室のリノベーショ ンと看板設置
2	株式会社 DIG DESIGN	PELLICULE
3	有限会社伊豆大島リゾートゴルフ クラブ	ゴルフ場インフラと伝統産業の融合による、伊 豆大島高付加価値観光創出事業

		～カートで巡る天空のジオパークと、島唯一の焼酎「御神火」を味わう旅～
4	NPO 法人 青梅吉野梅郷梅の里未来プロジェクト	吉野梅郷曼殊沙華まつり
5	Cozy Surf	島しょ型マリン体験と宿泊による安定集客促進
6	まぎ～ずあ～す	島の資源を活かした小規模ウェルネス cafe・発酵薬草サウナとコミュニティランドリー

ス 島しょ地域におけるクルーズ船寄港地でのアクティビティ開発事業（新規）＜東京都出捐金事業＞

島しょ地域における高所得層のクルーズ船客等の来島者に向けた新たな体験型アクティビティの開発を支援し、開発したアクティビティのモニターツアーを実施した。

セ 多摩地域魅力 PR 事業（新規）＜東京都受託事業＞

多摩地域は、豊かな自然や歴史ある寺院・神社等の多彩で魅力的な観光資源が豊富にある。こうした多摩地域の魅力を様々な情報発信ツールを活用して発信し、国内外の旅行者への認知を高め、多摩地域への誘客を促進した。

ソ 島しょ地域魅力 PR 事業（新規）＜東京都受託事業＞

島しょ地域は、都心部には見られない豊かな自然や独自の歴史・文化等の観光資源がある。こうした魅力を様々な情報発信ツールを活用して発信し、国内外の旅行者への認知を高め、島しょ地域への誘客を促進した。

タ 観光まちづくりにおける江戸の文化財等の活用促進事業 ＜東京都出捐金事業＞

都内各地に残る江戸の文化財等の魅力や価値を住民や旅行者が体感できる取組を支援することで、地域における文化財の保護や観光資源として活用する意識を醸成した。

	協議会名	事業名
1	八王子桑都千景推進協議会	八王子桑都千景～江戸の粋と未来を紡ぐ観光まちづくりプロジェクト～
2	港区江戸文化共創協議会	港区の文化財を通じた江戸追体験～260 年の平和を支えた精神と仕組みを探求する～
3	中央区・港区 江戸の文化財活用推進協議会	「Edo Loop ― “探りたくなる江戸・体験する江戸・楽しむ江戸”」 ～中央区・港区発、江戸文化を日常にひらく連携プロジェクト～

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施 ＜東京都出捐金・補助金事業＞

ア 地域における観光まちづくりの支援

観光関連団体等による地域主導の自主的な活動の充実を図り、東京全体の観光産業振興の底上げと観光を通じた地域の活性化につなげた。

① 観光活性化フォーラムの開催 ＜東京都補助金事業＞

地域の観光まちづくりの参考となる基調講演や事例発表等を行うとともに、地域の取組や観光素材等を紹介する展示交流会を実施した。

15 団体が出展し、参加者数は 324 名（会場参加・オンライン参加）となった。

② アドバイザー派遣事業 ＜東京都出捐金事業＞

・アドバイザーによるチーム支援事業

地域の観光協会等が主体的に取り組む観光まちづくりが効果的に促進されるよう、要望に応じた複数の専門家を団体に派遣し、事業推進のための指導・助言等を行った。

各地域の課題にあわせ、12 件 11 団体へ計 11 名の専門家を派遣した。

	申請団体	派遣アドバイザー	
		氏名	所属団体
1	一般社団法人立川観光コンベンション協会	大森 峻太	株式会社ジェイノベーションズ

2	一般社団法人武蔵野市観光機構	朝倉 はるみ	淑徳大学
3	調布市観光協会	大迫 道治	まちづくりラボ・サルベージ株式会社
4	一般社団法人町田市観光コンベンション協会	羽田 耕治	横浜商科大学
		山田 一誠	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター
5	一般社団法人大田観光協会	大城 琴音	株式会社 Beyond
6	狛江市観光協会	上垣 真子	まちづくりラボ・サルベージ株式会社
7	桑都千景推進協議会(八王子商工会議所)	村松 知木	一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク
8	福生市観光振興計画策定協議会	嶋田 俊平	株式会社さとゆめ
9	一般社団法人新宿区観光振興協会	鶴本 浩司	株式会社マーケティング・ボイス
10	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	大迫 道治	まちづくりラボ・サルベージ株式会社
11	しのばず和めぐり協議会	スタンコフ アレクサンダー ディミトロフ	地方色～Local Colors

・マーケティングを活用した事業計画策定支援

観光協会が地域の多様な主体と連携し、マーケティング調査結果・分析を活用して策定する取組等を支援した。

	申請団体	事業概要
1	福生市観光振興計画策定協議会	福生市の持続可能な観光振興計画策定事業(令和8年11月まで)
2	桑都千景推進協議会	マーケティングを活用した「桑都千景」戦略ビジョンの策定～「選んでよし!訪れてよし!住んでよし!」の文化・産業観光づくり～(令和8年11月まで)
3	一般社団法人新宿観光振興協会を主たる提案者とする協議会	新宿におけるインバウンド旅行客実態調査及び事業計画策定支援(令和8年11月まで)

・地域連携プラットフォームの運営・拡充

観光協会等を対象としたポータルサイトを活性化させるための支援を行うとともに、協会間の連携強化のための機能を導入するなどし、観光協会等の自主的な取組や団体間の連携の強化を図った。

③ 学生インターン事業 <東京都出捐金事業>

関東圏の大学や専門学校の学生を観光協会等に派遣し、教育機関が有する人材や知見を観光事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成した。

・個別派遣

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、関東圏の大学又は専門学校に所属する学生を観光協会等に派遣した。

	派遣先	学校名
1	一般社団法人墨田区観光協会	明治大学 JTB ツーリズムビジネスカレッジ
2	特定非営利活動法人神津島観光協会	立教大学 JTB ツーリズムビジネスカレッジ
3	一般社団法人港区観光協会	立教大学

4	一般社団法人新宿観光振興協会	立教大学
5	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	立教大学

・ゼミ派遣

都内の観光協会等が抱える課題解決に向けて、新たな視点を取り入れた地域の取組を推進するとともに、地域への理解促進や将来の地域活性化の担い手を育成することを目的として、観光協会と都内の観光の観光関連分野の大学等が協働でワークショップ等を実施した。

	団体名	大学・ゼミ名	課題名
1	一般社団法人大田観光協会	川村学園女子大学観光文化学科・山田ゼミ	大田区の認知度・知名度向上のための SNS 情報発信
2	一般社団法人東京北区観光協会	東洋大学国際観光学部・古屋ゼミ	北区花火会満足度を高める人の導線設計
3	一般社団法人東京北区観光協会	明治大学政治経済学部奥山ゼミ	北区花火会川口側のプロモーション強化
4	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	東洋大学国際観光学部・武ゼミ	「みずまちあきしま」プロジェクトを活用した認知度向上
5	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	東洋大学国際観光学部・杉本ゼミ	新たな観光モデルコースの発掘・開発
6	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	駒沢女子大学観光文化学部（ゼイヤーゼミ）	観光を切り口とした、若年層への小平というまちの魅力浸透
7	一般社団法人式根島観光協会	成蹊大学経済学部・小田ゼミ	SNS を活用した情報発信
8	一般社団法人式根島観光協会	立教大学観光学部・羽生ゼミ	島内アンケート調査と集計・考察

④ 観光人材育成支援事業 ＜東京都補助金事業＞

地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施し、地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成した。

研修テーマ	開催日	参加者数	実施方法
「新任研修」	令和 7 年 6 月 4 日	17 名	オンライン
「地域資源の見つけ方」	令和 7 年 6 月 26 日	11 名	実地
「PR/広報に関する研修」	令和 7 年 7 月 11 日	14 名	オンライン
「データ分析研修」	令和 7 年 8 月 20 日	28 名	オンライン＋実地
「都内観光協会視察ツアー」	令和 7 年 10 月 30 日	19 名	実地
「サステ座学」	令和 7 年 11 月 26 日	19 名	オンライン
「燕三条視察ツアー」	令和 7 年 12 月 5 日	19 名	実地

⑤ 観光まちづくり支援助成事業 ＜東京都出捐金事業＞

地域の観光協会や観光関連団体等が取り組む観光産業の活性化や経営力強化等を図る事業に係る費用の一部を助成した。

	申請団体	事業概要
1	清瀬市観光協会	清瀬ひまわりフェスティバル BAR～きよ飲み！！～
2	調布市観光協会	観光冊子制作事業
3	青梅商工会議所	地元サイクル関係者が推す魅力発信事業
4	公益財団法人世田谷区産業振興公社	世田谷区おでかけ情報サイト開発業務

5	一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会	地域資源であるロケットを活用したイベント事業
6	一般社団法人中野区観光協会	中野区観光協会サイトリニューアル
7	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	八王子観光インバウンド向け情報発信業務委託
8	公益財団法人世田谷区産業振興公社	世田谷まちなか観光周遊型謎解きイベント企画運営業務委託
9	一般社団法人武蔵野市観光機構	マンホールカード発券機導入による、受付職員対応の効率化
10	一般社団法人墨田区観光協会	すみだのカフェと下町らしさ～「まちだからシリーズ」すみだの魅力・文化を活かした区内回遊～
11	一般社団法人中野区観光協会	MIYA SONIC 2025 Funkin' for サギノミヤン♪
12	狛江市観光協会	多摩万葉大茶会
13	一般社団法人千代田区観光協会	東京・神田「日本の酒の街」プロジェクト
14	福生市観光協会	福生市観光協会パソコン及びプリンター等購入事業
15	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	私の推し昭島～「みずまちあきしま」のプロモーション施策～
16	一般社団法人文京区観光協会	文京 坂と湯めぐり デジタルスタンプラリー
17	特定非営利活動法人神津島観光協会	神津島観光業務の一体管理による経営基盤強化事業

イ 水辺のにぎわい創出事業 <東京都出捐金事業>

観光関連団体や水辺活動団体、民間事業者等が行う、水辺空間に新たなにぎわいを創出する事業を支援した。

	申請団体	事業名
1	寺田倉庫株式会社	現代アートによる天王洲のにぎわい創出事業
2	沿線まるごと株式会社	沿線まるごとホテル～水とつながる体験空間創出に向けた施設整備事業～
3	オフィスK 合同会社	箱崎町ビルかわてらす計画 (仮)

ウ 東京ライトアップ発信プロジェクト

① 建造物等のライトアップモデル助成 <東京都出捐金事業>

都内の建造物等を保有する区市町村や観光協会、民間事業者等が行う、常設のライトアップ事業を支援した。

② 春・秋のライトアップモデル助成 <東京都出捐金事業>

観光協会や商店街等が行う、春や秋の自然等を活用した一時的なライトアップの取組を支援した。(計：10件/秋：7件、春：3件)

(秋のライトアップモデル事業)

	申請団体	事業名
1	一般社団法人上野観光連盟	不忍池 樹木ライトアップ
2	墨田区観光協会	SUMIDA 光のナイトガーデン 2025 -江戸を感じる光の情景-
3	神楽坂通り商店会	神楽坂ケヤキライトアップ
4	西新宿一丁目商店街振興組合	東京都道新宿副都心八号線 秋の紅葉ライトアップ
5	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	萩山公園ライトアップ ～きらめく紅葉につつまれて～
6	一般財団法人公園財団	花畑記念庭園 秋のライトアップ

7	社団法人東京北区観光協会	秋の紅葉ライトアップ～飛鳥山、新しい顔へ～ (春のライトアップモデル事業)
	申請団体	事業名
1	板橋区観光協会	石神井川の桜並木継承プロジェクト
2	一般社団法人大崎エリアマネージメント	目黒川さくらのライトアップ 2025～五反田 YOZAKURA～
3	一般社団法人中野区観光協会	令和7年度中野通り桜ライトアップ事業

③ ライトアップスポット等のマップ管理・発送 <東京都補助金事業>

都内のライトアップ施設等を紹介するマップの管理・発送や、ウェブサイトでの情報発信により、旅行者がライトアップ施設等を回遊しやすくすることで、旅行者誘致につなげた。

エ 東京プロジェクションマッピング促進支援事業 <東京都出捐金・補助金事業>

① プロジェクションマッピング促進支援事業助成金 <東京都出捐金事業>

都内におけるプロジェクションマッピング活用の裾野を広げ、東京の新たなナイトライフ観光の盛り上げにつなげるため、民間事業者等によるプロジェクションマッピングの取組を支援した。

	申請団体	事業名
1	株式会社 Droots	ノスタルジック江戸展～浮世絵が映す江戸～ in 増上寺
2	東急不動産株式会社	渋谷・ホノルルプロジェクト
3	一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団	お台場 Dream プロジェクションマッピング featuring 第24回ドリーム夜さ来い祭り
4	株式会社一旗	天王洲地区の水辺空間を活用した天王洲チャンネルサイド プロジェクションマッピング
5	一般社団法人竹芝タウンデザイン	ウォーターズ竹芝 光と音で彩るプロジェクションマッピング『碧のキラメキ』
6	一般社団法人東銀座エリアマネージメント	江戸裏道幻燈夜 Edo Hidden Street Projection - 歌舞伎座裏道まよい道 -
7	東日本旅客鉄道株式会社	OIMACHI TRACKS プロジェクションマッピング
8	株式会社一旗	浅草寺プロジェクションマッピング
9	森ビル株式会社	TORANOMON Street Art Project (仮称)

② プロジェクションマッピング総合相談窓口の運営 <東京都補助金事業>

都内でのプロジェクションマッピングの面的な展開を推進するための相談窓口を設置し、専用ウェブサイトによる情報発信を通じて、プロジェクションマッピング促進支援事業助成金の紹介、及びプロジェクションマッピングの専門家の派遣等を実施した。

・相談受付件数：60 件

・専門家派遣件数：1 団体（延べ回数 4 回）

オ 観光まちづくりサポート事業 <東京都出捐金事業>

都内の観光協会が抱える地域の観光まちづくりに係る課題を解決するため、多様な職務経験等を有するプロボノ人材のノウハウを活用した支援を行った。

	団体名	プロジェクト内容
1	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	「水」を感じられるイベント・キャンペーンの企画
2	一般社団法人東京北区観光協会	「おみやげ館」を起点としたマーケティング施策と若手職員の育成
3	一般社団法人練馬区業振興公社	「ねりコレ」の事業者向けマニュアルの再構成・資料化
4	一般社団法人武蔵野市観光機構	吉祥寺以外の武蔵野市の魅力も伝えられる広報戦略づくり
5	一般社団法人式根島観光協会	島外の人々を惹きつけるプロモーション施策

	紹介資料の作成
都内観光協会が抱える観光まちづくりに係る課題を解決するため、多様な職務経験を有するプロボノ人材 10 名を 5 協会へ派遣した。	

カ ナイトタイム等における観光促進事業 <東京都出捐金事業>

観光関連団体等が行う、地域ならではの観光資源を活かした夜間・早朝イベント、地域の夜間・早朝の観光振興に資する情報発信等の取組を支援することで、ナイトタイム等を活用した訪都外国人旅行者の誘致を促進するとともに、観光時間帯の分散化を図った。(計：21 件／新規 12 件、継続 9 件)

(新規事業)

	申請団体	事業名
1	一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント	カナエル NIHONBASHI2025
2	一般社団法人たちきたエリアマネジメント	(仮称) 2025 たちかわイルミネーション
3	羽田みらい開発株式会社	ハネダ夜街 (JPN FANS NIGHTS)
4	東急不動産株式会社	「渋谷エリアにおけるナイトタイム観光の体験促進、およびその情報整備・発信に関する事業」
5	株式会社阪急交通社	TSUMAMING GUIDE MAP 港区ツマミング・デジタルガイドマップ ～つまんで歩く、都会の夜～
6	株式会社ナビタイムジャパン	「フィナム ランニング クラブ♡」とめぐる、夜の EAST 東京
7	一般社団法人地域未来企画	“Tokyo Bay Night Cruise with Pop Soundscape” 昭和 100 年。シティポップを聞きながら、港区アーバンナイトクルーズ
8	株式会社 Moon	『MOONRISE』祈りと自由、伝統と革新。音と灯と味で感じる体験
9	株式会社ドローンショージャパン	ODAIBA DRONE SHOW
10	一般社団法人 Tokyo Sea Trip	Meguro River Night Ambience ～目黒川 4km が楽器になる。街と自然が共鳴するアートプロジェクト～
11	オンラインスナック横丁文化株式会社	YOKOCHO WONDERKAND in TOKYO
12	株式会社 EDO KAGURA	「SHOGUN」の足跡探す神楽坂 五感で巡る伝統文化

(継続事業)

	申請団体	事業名
1	東武鉄道株式会社	東京下町回遊 竹あかり
2	一般社団法人浅草六区エリアマネジメント協会	大衆芸能の聖地・浅草-NIGHT SHOW-
3	株式会社エル・ディー・アンド・ケイ	代々木公園観光促進プロジェクト
4	一般社団法人千代田中央文化交流推進機構	神田明神 光彩絵巻 ～光が彩る日本文化～
5	一般財団法人渋谷区観光協会	渋谷の夜間観光振興に向けたナイトライフ案内所の運営と連動した回遊施策
6	一般社団法人竹芝エリアマネジメント	TOKYO SEA LIGHT2026 東京ベイエリアの地域回遊性向上事業
7	一般社団法人浅草六区エリアマ	大衆芸能の聖地・浅草-NIGHT SHOW-

	ネジメント協会	
8	株式会社エル・ディー・アンド・ケイ	代々木公園観光促進プロジェクト
9	三菱地所プロパティマネジメント株式会社	TOKYO AfterDark in MARUNOUCHI

キ ナイトタイム観光プロモーション事業（新規） ＜東京都補助金事業＞

ナイトタイム関連イベントに対する、即時性のある情報発信を充実させるとともに、ナイトタイム観光も楽しめる街としてのムーブメントづくりの仕掛けをしていくことで、訪都外国人旅行者の誘致促進を図った。

(4) 東京フィルムコミッション事業（一部新規） ＜東京都受託事業・出捐金事業＞

ア 東京ロケーションボックスの運営 ＜東京都受託事業＞

都内における映画、ドラマ等の撮影に係る各種の相談窓口として「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続の指導・助言等の支援を実施し、年間の問合せ件数は3,766件で、うち支援件数は1,336件であった（括弧内はうち、海外作品の支援件数）。

カテゴリー	映画		テレビ番組				WEB 映画 ドラマ	その他	スチール	ミュージック ビデオ	その他ジャンル	撮影以外	合計
	劇場映画	その他映画	TVドラマ	その他	TV番組	CM							
問合せ件数	457 (92)	57 (6)	429 (43)		202 (17)	232		539 (48)	71 (2)	67 (2)	92 (1)	1,620 (2)	3,766 (213)
支援件数	381 (73)	14	316 (40)		57 (9)	103		424 (44)	13	8	15 (1)	5	1,336 (167)
許可件数	都立	8 (1)	0	12	6	9		19	3	2	1	0	60 (1)
	その他	39 (5)	2	39 (9)	4	23		45 (7)	1	1	3	0	157 (21)
	計	47 (6)	2	51 (9)	10	32		64 (7)	4	3	4	0	217 (22)

イ PR 事業 ＜東京都受託事業＞

① 海外映画祭見本市等への現地出展

海外映像作品の誘致を目的として以下の見本市等に出展を行った。

- ・カンヌ国際映画祭併設国際見本市 2025（令和7年5月13日～5月21日）
- ・TIFFCOM/Japan Contents Showcase 2025（令和7年10月29日～10月31日）
- ・American Film Market 2025（令和7年11月11日～11月16日）
- ・ベルリン国際映画祭併設マーケット 2026（令和8年2月12日～2月18日）
- ・香港フィルマート 2026（令和8年3月17日～3月20日）

② 支援作品を活用した国内向け PR の実績

支援作品を通じた都内の魅力を国内向けに PR するため以下の事業を実施した。

- ・東京ロケーションボックス＋ムービーウォーカーPRESS タイアップ企画
フィルムコミッション活動と支援作品 PR
掲載期間：令和8年2月26日～3月28日 支援作品1作品特集コラム
掲載場所：ムービーウォーカーPRESS（ウェブサイト）での情報配信
- ・イベント開催：東京フィルムワンダーランド featuring 『レンタル・ファミリー』

支援作品映画『レンタル・ファミリー』及び都内・関東圏のロケツアーリズム
PR

実施期間：令和8年2月22日～2月23日

掲載場所：新宿シネシティ広場

- ・シネアド広告：支援作品映画『レンタル・ファミリー』公開時の本編上映前の
動画広告掲載

実施期間：令和8年2月27日～3月12日

掲載場所：TOHO シネマズ日比谷、新宿

ウ 海外作品制作支援事業 <東京都出捐金事業>

都内を舞台とした映画及びドラマ等の海外公開作品のロケハン及び撮影支援の計6事業の支援を決定した。

- ・ロケハン支援

	申請団体	作品名
1	株式会社ブリッジヘッド	THE EPILOGUE OF SUMMER（日本・香港共同製作）

- ・撮影支援

	申請団体	作品名
1	株式会社トリクスタ	MOVIE KINTSUGI(仮)（日本・ドイツ・カナダ共同製作）

(5) 東京シティガイド検定（通称 東京検定）の実施

検定試験を実施し、東京の歴史・文化から最新トレンドまで総合的に学び、東京の魅力を紹介できる人材を育成し、東京のホスピタリティを向上させる取組を実施した。

- ・第23回東京シティガイド検定試験

実施期間：令和7年12月22日～令和8年2月19日

会 場：全国の提携テストセンター（約340箇所）

受験者数：758名（実受験者数667名）

合格者数：433名

- ・試験対策セミナー

実施期間：令和7年12月1日～令和8年2月18日

実施方法：事前録画したセミナーをオンデマンドにて配信

受講者数：116名

- ・検定委員会

第1回 令和7年5月12日（書面開催）

第2回 令和7年9月12日

第3回 令和8年3月25日

(6) 被災地応援ツアーの実施 <東京都出捐金事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の観光振興と地域経済の復興を支援するため、旅行事業者等と連携して「福島被災地応援ツアー」を実施した。

また、震災により大幅に減少した福島県教育旅行増加に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対し、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

ア 宿泊・日帰り旅行支援

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、
宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行った

実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

実 績：宿泊旅行4,301泊、日帰り旅行368回

旅行会社数：96社

イ 福島県教育旅行復興支援

事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、上限7万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援した

実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

実績：73回

4 観光産業の支援に関する事業

(1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営（一部新規） ＜東京都出捐金事業＞

ア 総合相談窓口の運営

観光関連事業者の経営課題等に対して、相談から解決に向けた取組への支援までワンストップで対応する総合相談窓口を運営した。個々の事業者の状況やニーズに合わせ、支援策の紹介や専門家の派遣を実施し、観光関連事業者の経営力向上を支援した。また、観光産業及びデジタル化・DXに精通した「DXナビゲーター」を設置し、ハンズオン支援により観光関連事業者のデジタル化促進を後押しした。

- ・ センター相談受付件数：1,368件
- ・ 専門家派遣件数：99社（うちDXナビゲーター派遣18社）

イ 東京観光産業ワンストップ支援センターウェブサイトの運営

観光関連事業者向けの支援策を一元的に紹介するウェブサイトを運営し、新たな支援策や補助事業の活用事例等、様々な情報を分かりやすく発信した。

ウ 観光経営力強化セミナー等の実施

観光関連事業者に対し、先進的な取組の紹介や生産性の向上、新技術の紹介を行う経営セミナーや異業種間連携を促進する事業者交流会を開催した。また、関連団体等と連携し、オーダーメイドでの事業説明会や出張相談会を実施した。

- ・ 経営セミナー実施回数：4回
- ・ 事業者交流会実施回数：4回
- ・ 事業説明会等の実施回数：29回

(2) 観光産業の活性化（一部新規） ＜東京都出捐金事業＞

ア 宿泊施設経営力向上推進事業

- ・ 事業概要：都内宿泊施設が専門家から助言を受けて経営改善計画を策定して実施する、経営力向上のための施設改修に係る取組に対して経費の補助を行った。

- ・ 補助額：補助対象経費の3分の2以内（中小企業の場合は4分の3以内）
- ・ 補助限度額：500万円

イ 観光関連事業者のDX・経営力強化支援事業

- ・ 事業概要：観光関連事業者が生産性の向上や高付加価値化実現のために行う、DXや新サービス開発等の経営力強化を図る取組に対して経費の補助を行った。

- ・ 補助額：補助対象経費の3分の2以内
- ・ 補助限度額：3,000万円

ウ アドバイザーを活用した観光関連事業者支援事業

- ・ 事業概要：観光関連事業者が専門家からアドバイスを受けて行う、経営改善や新しい事業展開に向けた取組に対して経費の補助を行った。

- ・ 補助額：補助対象経費の3分の2以内
- ・ 補助限度額：200万円

エ 歴史ある建物や技術等観光資源の維持保全支援事業

- ・ 事業概要：観光資源として東京の魅力発信に資する施設や技術等を有する観光関連事業者が行う、観光資源の維持・保全の取組に対して経費の補助を行った。

- ・ 補助額：補助対象経費の3分の2以内（東京都が指定した重点エリア内において、協議会等が策定した重点エリア計画書に沿って取組を実施する場合は4分の3以内）

- ・補助限度額：1,000 万円（東京都が指定した重点エリア内において、協議会等が策定した重点エリア計画書に沿って取組を実施する場合は 1,500 万円）
- オ AI 等先端技術を活用した受入環境高度化支援事業
 - ・事業概要：観光関連事業者等がエリア単位で連携し、AI 等先端技術を活用した観光地の面的な高付加価値化を図る取組に対して経費の補助を行った。
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内
 - ・補助限度額：4,000 万円
- カ 観光関連事業者デジタル化レベルアップ支援事業
 - ・事業概要：観光関連事業者が生産性を向上させ、観光需要への対応を促進するために行う、比較的高度なデジタル技術による業務効率化やサービス向上の取組に対して経費の補助を行った。
 - ・補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・補助限度額：1,000 万円
- キ 観光関連事業者デジタルシフト応援事業
 - ・事業概要：観光関連事業者が人手不足解消や業務効率化等の早期解決に向けて行う、初歩的なデジタルツール導入等、短期間で導入可能なデジタル化の取組に対して経費の補助及びセミナー開催を行った。
 - ・補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・補助限度額：200 万円
 - ・セミナー：4 回開催
- ク 観光産業の魅力向上応援事業

観光の仕事のやりがいや魅力を伝えるイベントや職場見学会等を開催して、観光産業への就業意欲を喚起することにより、事業者の人材確保を支援した。
- ケ 観光関連事業者による環境対策促進事業
 - ・事業概要：観光関連事業者が自ら策定した環境対策に関する計画等を実施するために必要な設備導入・更新等の取組に対して経費の補助を行った。
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内（中小企業の場合は 3 分の 2 以内）
 - ・補助限度額：1,500 万円

(3) 受入環境インフラの整備（一部新規） ＜東京都出捐金事業＞

- ア デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業
 - ・事業概要：外国人旅行者の利便性向上を目的に、まちなかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）40 基の運用管理を行った
 - ・提供情報：観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など（各施設までの道順を表示）、アラート（災害時情報発信システム）と連携した災害情報等
 - ・対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語
- イ 観光インフラ整備支援事業
 - ① 区市町村観光インフラ整備支援
 - ・事業概要：観光案内標識の整備・更新、多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内
ただし、安全・安心の確保、地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進（混雑緩和やマナー啓発等）は最大 4 分の 3 以内
 - ・補助限度額：1 億円（1 区市町村当たり、令和 7 年度から令和 11 年度までの合計）
 - ② 観光施設の国際化支援
 - ・事業概要：多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、都内民間観光施設が行う外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内

- ・補助限度額：1,000 万円（1 施設当たり、令和 7 年度から令和 11 年度までの合計）
 - ウ 観光バス等バリアフリー化支援事業
 - ・事業概要：高齢者や障害者等も含めた誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、バス事業者が取り組む乗降用リフト付車両の導入に対して支援した
 - ・補助額：補助対象経費について、大型車 800 万円、中型車 500 万円、小型車 300 万円以内（1 台あたり）
 - エ 宿泊施設のバリアフリー化支援事業
 - ・事業概要：旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、都内民間宿泊施設が実施するバリアフリー化に関する取組に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の最大 10 分の 9 以内
 - ・補助限度額：バリアフリー化整備にかかる各事業の補助限度額（カッコ内は一定要件を満たす場合）
- | 補助対象経費 | 延床面積 1,000 m ² 未満の施設 | 延床面積 1,000 m ² 以上の施設 |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| (1) コンサルティング | 100 万円 | 100 万円 |
| (2) 施設整備 | 3,000 万円(6,000 万円) | 2,500 万円(5,000 万円) |
| (3) 客室整備 | 4,800 万円(9,600 万円) | 4,200 万円(8,400 万円) |
| (4) 備品購入 | 320 万円 | 270 万円 |
| (5) 実施設計 | 100 万円 | 90 万円 |
- オ タクシー事業者向け多言語対応端末導入補助事業
 - ・事業概要：タクシーを利用する外国人旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者が行う多言語対応等に活用できるタブレット端末等の導入に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内（個人事業主の場合は 10 分の 9 以内）
 - ・補助限度額：補助対象車両の数に 5 万円を乗じた額（個人事業主の場合は 9 万円）
 - カ インバウンド対応力強化支援事業
 - ・事業概要：宿泊・飲食・小売事業者等が行う多言語対応や公衆無線 LAN 設置など外国人旅行者の受入環境整備に係る取組に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内、多言語化対応の場合は 3 分 2 以内
 - ・補助限度額：300 万円（1 施設・店舗当たり）、観光関連団体等の場合は 1,000 万円
 - キ 飲食事業者向けベジタリアン・ヴィーガン認証取得支援事業
 - ・事業概要：外国人旅行者の安心感・満足感の向上や飲食店の新規顧客獲得に向けて、飲食事業者が行うベジタリアン・ヴィーガンに関する認証取得に対して支援した
 - ・補助額：補助対象経費の 2 分の 1 以内
 - ・補助限度額：20 万円（1 店舗当たり）
 - ク 観光関連事業者による旅行者受入対応力強化支援事業
 - ・事業概要：観光産業における人手不足への対応を図るため、観光事業者が行う人材の確保・定着・育成に係る取組に対して経費の補助を行った
 - ・補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内（大企業の場合は 2 分の 1 以内）、DX 関連人材・外国人材の場合は 4 分の 3 以内（大企業の場合は 3 分の 2 以内）
 - ・補助限度額：300 万円（1 補助事業者当たり）
 - ケ 島しょ地域のバリアフリー観光整備支援事業（新規）
 - ・事業概要：障害者等が島しょ地域の観光を楽しむことができる環境を整備するため、島しょ地域の飲食・タクシー事業者等が行うバリアフリー化の取組に対して支援した
 - ・補助額：施設整備は補助対象経費の 5 分の 4 以内、車両整備は補助対象経費の 10 分の 10 以内
 - ・補助限度額：施設整備は 1,500 万円（1 施設あたり）、車両整備は 40 万円（1 台当たり）

5 観光情報の発信に関する事業

(1) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

東京の観光公式サイト「GO TOKYO」において、東京の総合的な観光情報を 9 言語・10 種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、独語、仏語、西語、伊語）で発信した。これにより、国内外から旅行者を東京へ誘致するため、東京の魅力を世界に発信するとともに、訪都旅行者へ観光情報を提供した。また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数* (令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月)
日本語	6,266,722
英語	7,891,168
中国語（簡体字）	646,695
中国語（繁体字）	2,206,678
韓国語	1,739,956
ドイツ語	295,445
イタリア語	263,867
スペイン語	365,400
フランス語	412,884
タイ語	480,957
合計	20,569,772

*アクセス数はページビューでカウント

また、SNS（Facebook、Weibo 等）において、東京都内各地の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数* (令和 8 年 3 月末)
Facebook	日本語	7,558
	英語	658,328
	中国語（繁体字）	282,761
	韓国語	21,288
	ドイツ語	7,715
	イタリア語	26,668
	スペイン語	38,585
	フランス語	23,908
	タイ語	118,565
Weibo	中国語（簡体字）	200,571
WeChat	中国語（簡体字）	33,510
NAVER	韓国語 ※年間閲覧数	163,949

*読者数はアカウントのフォロワーの数

(2) 東京ブランドの推進事業 <東京都出捐金事業>

ア 東京ブランドの発信

旅行地としての東京を強く印象付けるため、「東京ブランド」の確立に向けた取組の一環として、主に国内の多様な主体が東京ブランドロゴを活用していくための申請受付、承認、管理等を包括的に行う管理事務局を運営する。また、東京ブランドロゴ公式サイトの維持・運営を行う。

イ 東京の魅力発信プロジェクト

東京ブランドの普及・浸透を図るため、民間事業者等から連携事業の提案を受け、東京ブランドアイコンの普及・浸透に特に効果的な 6 提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

	民間事業者	プロジェクト名称
1	東武鉄道株式会社	台東・墨田エリア謎解きイベントを活用した東

		京の魅力発信プロジェクト台東・墨田謎解き時空旅絵巻～消えた浮世絵を追って～
2	株式会社講談社ビーシー	まんが社会見学シリーズ特別版大研究！伝統と革新の街世界を夢中にさせる TOKYO 大冒険を活用した東京の魅力発信プロジェクト
3	株式会社朝日新聞社/BuzzFeed Japan 株式会社	Tokyo Monja Mix ～こんなもんじゃない、東京もんじゃ～
4	ぴあ株式会社	江戸から未来の東京へ東京最高の名物料理レストランウィーク 2026
5	株式会社交通新聞社	家でも、街でも、SNS でも。VTuber と一緒に推す、伝統と新しい文化が交差する東京・多摩。
6	ぴあ株式会社	江戸・東京夜景&イルミネーションウィーク 2026

ウ インナーブランディングの強化

都民や民間事業者等と東京ブランド「アイコン」のコンセプトを共有し、東京ブランドの一層の浸透を図るため、インナーブランディングの強化に向けた、都民参加型のキャンペーンを都内3地域（区部・多摩地域・島しょ地域）で実施した。

・キャンペーン名「あしたの東京プロジェクト」

キャンペーン参加者：209名（応募者：4,978名）

区部：江戸東京歴史ツーリズム 令和7年9月23日（火・祝）、27日（土）、28日（日）

多摩地域：多摩の魅力発見ツーリズム 令和7年12月20日（土）

島しょ地域：東京島自然体感ツーリズム 令和8年1月24日（土）～25日（日）

併せて、海外に向けて東京の魅力発信を行うことに意欲のある若者を観光プロモーションの発信者として公募の上、14名を任命した。外部インフルエンサーやOB/OGメンバーとの交流、ワークショップや施設等の取材等を通じて、公式 SNS アカウント（Instagram）での投稿内容制作等の取組を支援した。東京への愛着を深め、その多様な魅力の気づき・発信を促すことで、次世代の観光を担う若年層の地域への理解・愛着を醸成した。

(3) ウェルカムカードの作成 ＜東京都補助金事業＞

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、「東京トラベルガイド」を9言語・10種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、独語、仏語、西語、伊語）で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で提供した。

(4) 多様な文化・習慣を持つ外国人旅行者向けパンフレットの作成 ＜東京都補助金事業＞

多様な文化・習慣を持つ旅行者の受け入れに取り組む各種施設やハラル・ベジタリアン等向けメニューに対応する都内飲食店を紹介した観光客向けパンフレットを作成し、東京観光情報センター、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した（日本語及び英語。ただし、日本語版はデジタルパンフレットギャラリー上での公開のみ）。

(5) 観光ボランティアの管理運営（一部新規） ＜東京都受託事業＞

観光ボランティアの募集・登録を行い、ガイドツアーや街なかでの観光案内等、ボランティアが活躍できる環境を整えるとともに、研修等を通じてボランティアの資質の向上を図った。

ア 東京都観光ボランティアの管理運営・活動支援

① 都庁案内ガイドサービス・展望室ガイドサービス

都庁舎や都庁展望室を訪れる外国人旅行者に対し、都庁舎内や都庁展望室を外国語で案内した。

② 観光ガイドサービス

外国人旅行者を対象にした都内 16 ルートのガイドツアーに加え、池袋周辺をまわるツアーを新たに 1 ルート追加した。

③ 街なか観光案内

外国人旅行者が多く訪れる 10 地域（新宿、六本木・赤坂、渋谷、原宿・表参道・青山、銀座、東京駅周辺・日本橋、浅草、上野、秋葉原、臨海副都心）の街なかにおいて、国内外からの旅行者に観光案内等を実施した。

④ 観光ボランティアの派遣

区市町村、公的団体、国際会議の主催者等の要請に応じ、これらの団体が開催する国際会議などに、会場案内や事務局補助活動等を行う観光ボランティアを派遣した。

＜令和 7 年度各種ボランティア活動実施結果＞

- ・観光ボランティア登録者数：3,462 名（休止者等 402 名含む）
うち、新規採用観光ボランティア登録数：325 名
- ・都庁案内ガイドサービス実施件数：830 件
- ・展望室ガイドサービス実施件数：17,893 件
- ・街なか観光案内対応件数：189,005 件
- ・観光ガイドサービス実施件数：1,151 件
- ・観光ボランティア派遣：58 回（派遣者数：延べ 475 名）

⑤ 観光ボランティア向け研修の実施

観光ボランティアとしての資質向上を図るため、e ラーニングシステムを効果的に活用しながら、幅広いテーマの研修を実施した。

⑥ ボランティアポータルサイトの運用

ポータルサイトを運営し、活動の連絡や記録を行うとともに、観光情報やマニュアル等を観光ボランティアに公開した。

⑦ 大学生向け観光ボランティア参加促進プログラムの実施

大学生を対象に、観光ボランティアへの参加を促すため、東京の魅力を学び、観光ボランティアとの交流を通じ、外国人旅行者へのおもてなしを考えるプログラムを実施した（参加者 113 名、応募者 185 名）。

⑧ 東京 2025 デフリンピックを契機とした観光ボランティアの障害者対応力の向上

聴覚障害者に対しても障害のない人と同等の観光案内を提供できるよう、より実践的な研修を実施した。また、観光ガイドサービスのアクセシブルツアーを紹介するウェブサイトの掲載情報の見直しを行い、障害者のアクセシビリティの更なる向上を図った。

イ おもてなし親善大使の育成

① おもてなし親善大使育成塾の開催

都内在住・在学の中高生を対象に、おもてなしの心を具体的行動で表すためのスキルや知識を身につけることを目的とした「おもてなし親善大使育成塾」を開催した（おもてなし親善大使育成塾 参加者 209 名 任命者 192 名（累計 1,878 名））。

② おもてなし親善大使の活動

これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、外国人旅行者への観光案内等、ボランティア活動体験等に資する活動を行った。

③ おもてなし親善大使の研修

これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、観光案内の知識や語学等のスキルアップを図る研修や、都市に対する誇りや愛着の醸成につながる研修を実施した。

(6) 多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）の運営 ＜東京都受託事業＞

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。

ヴィーガンなど食の多様性に対応したメニュー 紹介ページを追加・更新した。

- ・サイト登録店舗数 9,554 店舗（令和 8 年 3 月末時点）
- ・都内飲食店等対象の「EAT 東京」普及啓発セミナー開催実績 2 回 参加者 40 名

(7) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営

東京の様々な観光パンフレットを、国内外の旅行者がウェブ上で閲覧できるウェブサイト「東京観光デジタルパンフレットギャラリー」を5言語・6種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語）で管理運営した。また、掲載パンフレットやサイトコンテンツの充実を図り、ウェブサイトの魅力や操作性を高めるとともに、利用拡大に向けたPR施策を展開した。

(8) 東京観光情報センター等の管理運営（一部新規） <東京都受託事業>

ア 東京観光情報センターの運営

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、都内5箇所（東京都庁、羽田空港、京成上野、バスタ新宿、多摩）で東京観光情報センターを運営した。

- ・来場者数：合計 1,451,707 人（うち、外国人 928,868 人/64.0%）
- ・問合せ件数：合計 474,011 件（うち、外国人 365,753 件/77.2%）

① アクセシブルツーリズム

障害者や高齢者等とのコミュニケーションサポートツールを東京観光情報センター全箇所に配備。バスタ新宿ではアクセシブルツーリズム専用カウンターを設置し、車いすとベビーカー貸出を通年実施するなど、「心のバリアフリー」認定施設として、より多くの旅行者が東京観光を楽しめる環境の整備を継続して実施した。

② オンライン観光案内（一部新規）

アバターを活用したビデオ通話によるオンライン観光案内を継続し、旅マエから旅ナカまで、国内外から手軽に旅の相談ができる機会を提供した。また令和6年度にAIチャットボット（β版）として利用開始したAIコンシェルジュに新たな機能（アバター、音声）を追加し、「東京ナビゲーションAI ED0」として本格運用を開始した。

- ・オンライン通話利用実績
受信件数：合計 175 件（うち、外国人 146 件/83.4%）
- ・東京ナビゲーション AI
延べ質問者数：5,862 人（β版の実績を含む）
（うち、外国人 3,154 人/53.8%）

③ 日報データベース

日報データベースに現場で効率よく作業を行えるように新たな機能を追加した。また、日報データベースに蓄積された情報を東京観光情報センターの運営に役立てた。

④ 調査及び研修（一部新規）

東京観光情報センターの接遇力強化や知識向上を図るため、国内外の旅行者に対して満足度調査及び覆面調査を実施するとともに、調査結果を踏まえた研修を企画し実施した。また、東京特有の魅力を旅行者に伝えるため、「江戸文化」や「ナイトタイム観光」についての専門研修を実施した。また、座学研修については適宜アーカイブ動画を作成し、全コンシェルジュが視聴できるようにした。

- ・接遇力強化研修 3 回/参加者 32 名
- ・全国観光案内スキルアップ研修 3 回/参加者 32 名
- ・アクセシブルツーリズム研修（基礎編）1 回/参加者 13 名
- ・アクセシブルツーリズム研修（手話）1 回/参加者 13 名
- ・アクセシブルツーリズム研修（応用編）1 回/参加者 12 名
- ・江戸文化研修（座学 2 講座、実踏 3 回）/参加者 55 名
- ・ナイトタイム観光研修（座学 2 講座、実踏 3 回）/参加者 53 名

⑤ 広報活動

東京観光情報センター等の認知度向上や利用促進に向けた広告展開等のほか、多摩地域で各種イベントを実施した。

<オンラインツアーの実施>

- ・1回目「夏休みは人気キャラクターに会いにTAMAへ行こう！」
実施日：令和7年8月24日/参加者：32名
- ・2回目「多摩で生まれる“ものづくり”の現場を見に行こう！」
実施日：令和7年12月6日/参加者：40名

＜センター多摩でワークショップ開催＞

- ・1回目「東京こけし絵付け体験」
実施日：令和7年8月2日/参加者：30名
- ・2回目「自然の恵みを感じるバターナイフ作り体験」
実施日：令和7年10月19日/参加者：30名

⑥ 江戸東京マップ（仮称）の制作（新規）

江戸の歴史・文化を楽しめる史跡等を掲載した江戸東京マップ（ARコンテンツ付き）を新たに作成し、東京観光情報センターで配布を開始した。

イ 全国観光PRコーナーの運営

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、東京都と全国の自治体が連携して観光情報等を発信する全国観光PRコーナーを運営し、各地域の観光パンフレットの配布や各自自治体を実施するPRイベントの支援を行った。

- ・場所：東京都庁（都庁第一本庁舎1階）
- ・来場者数：合計236,615人（うち、外国人61,610人/26.0%）
- ・問合せ件数：合計11,167件（うち、外国人7,486件/67.0%）
- ・イベントコーナー利用件数：50件

ウ イベント等における臨時観光案内所の管理運営

国内外からのイベント参加者に対して東京の観光情報をPRするため、以下のイベント等に臨時観光案内所を設置した。

- ・Tokyo Tokyo Delicious Museum 2025（シンボルプロムナード公園）
令和7年5月16日～5月18日
延べ来場者数：639人
- ・うえの夏まつり 2025（上野恩賜公園不忍池畔）
令和7年7月19日～7月20日
延べ来場者数：950人
- ・台湾フェスタ 2025（代々木公園）
令和7年7月26日～7月27日
延べ来場者数：547人
- ・東京味わいフェスタ 2025（丸の内エリア 行幸通り）
令和7年10月24日～10月26日
延べ来場者数：804人
- ・第11回都立動物公園アフリカフェア（多摩動物公園）
令和7年11月15日～11月16日
延べ来場者数：904人
- ・東京マラソン EXP02026（東京ビッグサイト）
令和8年2月26日～2月28日
延べ来場者数：4,733名
- ・ランナー応援イベント（皇居外苑広場）
令和8年3月1日
延べ来場者数：517名

エ 東京2025デフリンピック開催時における観光案内（新規）

東京2025デフリンピック開催期間中、旅行者等が多く訪れる場所に臨時観光案内所を設置し、東京の観光情報の提供、オリジナルスタンプの作成や、折り紙体験、TokyoTokyoノベルティグッズの配布等を実施した。

- ・設置場所：デフリンピックスクエアカルチャー棟内小ホール前ホワイエ
東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター

- ・実施期間：令和 7 年 11 月 15 日から 11 月 26 日まで
- ・延べ来場者数：4,280 名

オ 東京観光情報センターバスターミナル東京八重洲（仮称）の整備

市街地再開発事業により高速バスターミナル等が整備され機能が拡充される東京駅八重洲口周辺に新たな東京観光情報センターを開業するため、運営管理体制を構築し、関係各者と連携しながら開業に向けた準備を行った。

(9) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援（一部新規） ＜東京都受託・出捐金事業＞

ア 広域的な観光案内拠点等の整備支援 ＜東京都出捐金事業＞

都内における観光案内機能の向上を図るため、東京都が指定した広域的な観光案内拠点等（広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口）に対して整備等に関する補助を実施した。

- ・観光案内窓口整備支援補助金
- ・補助額補助対象経費の 3 分の 2 以内（区市町村は 2 分の 1 以内）
- ・補助限度額 3,000 千円（区市町村は 2,250 千円）

イ 広域的な観光案内拠点等の運営支援（一部新規） ＜東京都受託事業＞

広域的な観光案内拠点等が、国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、ロゴマークの提供や希望する窓口へのモニター付きコールセンター通訳サービスタブレット端末の貸与、屋内型観光案内デジタルサイネージの設置等の支援を行った。

また、屋内型観光案内デジタルサイネージについては既存の筐体やコンテンツ等の見直しを行い、タブレット等に対応させるため観光情報ネットワークの再構築を実施した。

① 調査及び研修

都内の観光案内機能の拡充を図るため、広域的な観光案内拠点等を対象に満足度アンケートや覆面調査を実施した。また、窓口のサービスの質の向上や、窓口同士のネットワーク構築を目的とした研修会や連絡会を開催した。

② 広域的な観光案内拠点等の情報発信力強化（専門家派遣）

希望する広域的な観光案内拠点等に専門家を派遣し、ウェブサイトや SNS 等を活用した情報発信に関する助言を行った。

- ・派遣回数 33 回/8 窓口

③ 広報活動

広域的な観光案内拠点等の認知度向上や利用促進に向け、WEB サイトの運営や広告を実施した。また、東京観光案内窓口の募集に際し、応募者数を獲得するための広報活動等を行った。

6 広報・調査研究に関する事業

(1) 財団コーポレートサイトでの情報発信

財団の活動や東京の観光・コンベンション情報等を、賛助会員をはじめ関係機関・団体、国内メディア等に広く PR するため、財団コーポレートサイトを活用して情報発信を行った。

(2) 共同研究・アドバイザー会議の実施

ア 民間事業者等と東京の観光に関する課題について、調査・研究を実施

① 「観光と暮らしの好循環をつくる、オーバーツーリズムへの備え方～渋谷・新宿・港区の事例から考える“適応力（アダプタビリティ）”～」

- ・共同研究者：株式会社リクルート ジャらんリサーチセンター
- ・旅行者数の増加とともに、都市部においても特定の場所や時間帯に来訪者が集中し、混雑やマナー問題等が局所的・一時的な顕在化が見られている。今後は、来訪者の増加を前提としながらも、地域の生活や魅力を持続的に守っていくために、起こりうる課題への「適応力」強化の視点で、都内 3 地域で実証・分析を行い、オーバーツーリズムへの備え方を考察した。

② 「東京のアートツーリズムの可能性～東京のポテンシャルを最大化する戦略の考察～」

- ・ 共同研究者：増子美穂氏（東洋大学 国際観光学部 教授）
植田聡子氏（Kiwi PR 合同会社 代表）
- ・ アートツーリズムは世界的に拡大し、作品鑑賞にとどまらず、多様な体験へと広がっている。東京のアートツーリズムの可能性について、内外比較や旅行者行動、識者インタビューを通じて、東京のアートの観光活用が進まない要因を整理し、都市の魅力的な観光コンテンツとして認識を高める方策を考察した。

イ 上記研究結果の発信の場として、オンライン・カンファレンスを開催

開催日：令和8年3月11日 視聴登録者数：254名

ウ 観光分野の有識者との意見交換

財団が推進する「持続可能な観光」や都予算編成等に向けた企画提案に対する助言、観光産業における今後の予測、世界的な傾向、その他新たなトレンドに関する意見交換を目的に、観光分野識者とのアドバイザリー会議を2回実施した。

第1回：令和7年6月5日 第2回：令和8年1月13日

(3) 「持続可能な観光」への貢献

ア 「持続可能な観光」加速化事業 <東京都負担金事業>

観光が引き起こす環境・社会への悪影響を最小限に抑え、東京の観光産業をさらに発展させていくため、区市町村や観光関連事業者に対し、「持続可能な観光」に関する国際的な業界動向や必要な知識、考え方の普及啓発を行い、業界の機運向上に努めた。

① 「持続可能な観光」基礎講座の実施

都内の地域や観光関連事業者等を対象に、「持続可能な観光」の推進に資する地域・宿泊施設等の取組や国際的な認証の枠組みなどについて、基本的な事項を学ぶための講座を4回実施した。

第1回：令和7年7月29日 参加者：172名

テーマ：観光誘客から地域経営へのシフトに必要な地域体制づくり

第2回：令和7年9月10日 参加者：181名

テーマ：サステナブルツーリズムの実践と旅行事業者の役割

第3回：令和7年10月22日 参加者：154名

テーマ：認証制度と宿泊施設のサステナビリティ

第4回：令和7年12月4日 参加者：136名

テーマ：持続可能な観光の現場を支える担い手の育成と実践

② 海外最新情報の収集

以下の「持続可能な観光」に関する国際的なカンファレンスへ参加し、業界の最新動向や海外の優良事例に関する情報を収集するとともに、現地で得られる最新の情報や知見を都内観光関連事業者等へ発信した。

令和7年7月9-11日：「Destination International 2025 Annual Convention」

令和7年8月5-8日：「GSTC 2025 in FIJI」

令和7年11月4-6日：「World Travel Market London 2025」

③ 国際機関公認講習等の実施

「持続可能な観光」の概念および国際基準である「GSTC 基準」への理解を深め、観光業界全体のサステナブル・ツーリズムを促進することを目的として、具体的な取り組み事例を学ぶ3日間のGSTC公認研修プログラムを実施した。

日程：令和7年12月15日-17日（1・2日目：座学、3日目：フィールドワーク）

フィールドワーク：品川地区において、都市部でサステナブル・ツーリズムを体現した「歴史まちづくり ツアー・古民家再生ツアー」に参加する事業者訪問等

イ 「持続可能な観光」に関する調査

① TCVB Sustainable Tourism Partnership

財団と賛助会員が連携し、環境負荷の軽減、地域経済への貢献・地域社会との連携、文化・自然遺産の保護と活用等の活動を通じて、東京を持続可能な観光・ビジネスイベント開催都市とすることを目的に、令和 5 年度に創設した「TCVB Sustainable Tourism Partnership」について、新たな参画事業者が加わり、全 38 社・団体に拡大した。

パートナーシップの参画事業者を対象とした勉強会を 2 回開催した。

第 1 回：令和 7 年 7 月 18 日 参加者：42 名

第 2 回：令和 8 年 7 月 25 日 参加者：31 名

国際基準の制定・認定団体である Global Sustainable Tourism Council の公認研修をパートナーシップ参画事業者向けに開催した。

日程：令和 7 年 10 月 29 日-31 日

(1・2 日目：座学、3 日目：銀座エリアでのフィールドワーク)

② 人流モニタリングツールの活用

都内 8 つの区・観光協会と、観光客分析に特化した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」を共同運営。令和 7 年度より訪日版を導入するとともに、「人流データを活用した訪都外国人旅行者の行動傾向」としてレポートを公表した。

7 その他事業

(1) 大阪観光局との連携

令和 3 年 12 月に締結した「包括連携に関する協定書」に基づき、情報交換等を実施した。

(2) 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事等 26 件に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

- ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2025
- 島じまん 2025
- 第 41 回文京あじさいまつり
- MUSIC MARATHON Fet de la MUSIQUE au Japon 音楽の祭日 2025
- 第 11 回府中流鏑馬
- タマリズムコンテスト
- 東京タワー文化フェスティバル IX
- 第 22 回新宿エイサーまつり
- 第 63 回文京区観光写真コンクール
- 第 4 回ツーリストシップサミット
- 国立大学法人筑波大学 令和 7 年度社会貢献プロジェクト
- 第 100 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋
- SCAJ2025 (ワールドスペシャルティコーヒーカンファレンスアンドエキシビション 2025)
- ETHICAL DESIGN WEEK TOKYO 2025
- 第 37 回新宿御苑森の薪能
- 東京ラーメンフェスタ 2025
- 高田馬場・早稲田ラーメンラリー2025
- 第 47 回文京菊まつり
- 東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol. 10
- 「ビジネスチャンス EXPO in TOKYO」
- 第 101 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2026
- 第 69 回文京梅まつり
- 東京マラソン 2026
- アートフェア東京 20

- 東京サマーランド「チャリティー音楽会」 「秋川クリーンアップ」
- 第54回文京さくらまつり

(3) 委員会への参加

財団役員等が観光関連団体等への委員等に就任し、活動に参画した。

- 観光立国推進協議会
- 一般社団法人大多摩観光連盟
- 公益社団法人日本観光振興協会
- 一般社団法人日本経営協会
- 東京外かく環状道路（関越道～湾岸道路）整備促進連絡会議
- 公益財団法人東京都公園協会評議員会
- 一般社団法人墨田区観光協会理事会
- 一般財団法人東京マラソン財団理事会
- 一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー理事会
- 多摩観光推進協議会幹事会
- 公益財団法人東京都中小企業振興公社理事会
- ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会
- 公益財団法人東京都島しょ振興公社理事会

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4箇所（新宿、有楽町、池袋、立川）と島しょ地域（9町村）において、東京都手数料徴収業務を実施し、また、新宿旅券課内において収入印紙類を販売した。

- ・ 東京都手数料徴収及び収入印紙販売件数 494,942件

2 テキスト販売事業

東京シティガイド検定（通称 東京検定）の公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」（新版）を販売した。

3 物販等販売事業

訪都旅行者の利便性向上のため、東京観光情報センター都庁内でTokyo Tokyoグッズを中心とした物品やTokyo Subway Ticketを販売するとともに、財団オンライン予約・購入サイトでの交通チケット等販売を実施した。

4 Old meets New 東京街歩きツアー事業

サステナブルな旅のスタイル「街歩き」を通じて東京の新旧の魅力を訪都外国人旅行者に知ってもらい、楽しんでもらうツアー企画造成し、販売した。

III その他事業（相互扶助等事業）

1 賛助会員に関する事業

(1) TCVB ミーティングの開催

業界トレンドや賛助会員の様々な関心分野のトピックを扱うTCVBミーティングを、計12回開催した。

- ・ 第1回：地域資源の発掘×磨き上げ
 　＜リアル開催＞ 開催日：令和7年5月12日 参加者数：32名

- ・ 第2回：東京で開催されるミーティング・インセンティブのトレンドと東京観光財団の支援について
 <オンライン開催> 開催日：令和7年9月4日 視聴者数：71名
- ・ 第3回：観光の現場で求められるユニバーサルマナーとアクセシブル対応
 <リアル開催> 開催日：令和7年9月16日 参加者数：23名
- ・ 第4回：ビジネスゲームで体感する！SDGs×観光まちづくり
 <リアル開催> 開催日：令和7年10月8日 参加者数：15名
- ・ 第5回：観光振興の視点から見たプロジェクションマッピングの可能性
 <オンライン開催> 開催日：令和7年11月5日 視聴者数：26名
- ・ 第6回：観光産業におけるブランディングの役割と実践
 <リアル開催> 開催日：令和7年11月12日 参加者数：49名
- ・ 第7回：インバウンドの最新ニーズを捉えた効果的な観光情報の発信
 <オンライン開催> 開催日：令和7年11月28日 視聴者数 86名
- ・ 第8回：増える外国人旅行者にどう対応する？東京のインバウンド受入・医療最前線
 <リアル開催> 開催日：令和7年12月22日 参加者数 24名
- ・ 第9回：配慮ある旅のあり方とは ツーリストシップでできること
 <リアル開催> 開催日：令和8年1月22日 参加者数 13名
- ・ 第10回：さらなる MICE 誘致に向けた施設のリニューアル戦略
 <リアル開催> 開催日：令和8年2月24日 参加者数 56名
- ・ 第11回：再訪を生む魅力とは？～記憶・共感・関係性から考えるリピーターの現在地～
 <リアル開催> 開催日：令和8年2月27日 参加者数 40名
- ・ 第12回：子育てファミリー観光の可能性～日本流「本気のサービス」の真髓から学ぶ～
 <オンライン開催> 開催日：令和8年3月12日 視聴者数 20名

(2) 賛助会員交流会の開催

財団の賛助会員である観光関連事業者等の交流を目的とした、賛助会員交流会を開催した。

- ・ 開催日：令和7年12月8日
- ・ 会場：ホテル椿山荘東京
- ・ 参加者数：208名

(3) 会員施設視察交流会等の開催

賛助会員同士のネットワーキングやビジネス拡大の場としての交流会等のイベントを、計7回開催した。

ア 会員施設視察交流会

- ・ 第1回：TAKANAWA GATEWAY Convention Center
 開催日：令和7年6月18日 参加者数：38名
- ・ 第2回：スカイホップバス
 開催日：令和7年9月17日 参加者数：25名
- ・ 第3回：ザ・プリンスパークタワー東京
 開催日：令和8年2月13日 参加者数：35名

イ TCVB サロン

- ・ 第1回：Google マップ対策アイデア発掘サロン
 開催日：令和7年8月29日
 主宰：(株)トリニクス
- ・ 第2回：まだ誰も知らない東京の楽しみ方、一緒に探しませんか？
 開催日：令和7年9月26日
 主宰：(株)ナビタイムジャパン
- ・ 第3回：東京観光データ活用サロン Vol.1

開催日：令和 7 年 9 月 30 日

主宰：リージョナルリング(株)

- ・ 第 4 回：東京観光データ活用サロン Vol.2

開催日：令和 8 年 2 月 24 日

主宰：リージョナルリング(株)

(4) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信

財団の活動や東京都等の観光に関わる行政情報、都内の地域・施設・イベントなどの旬なニュースやトピックスを収集し、賛助会員等にメール配信した。

- ・ 配信回数：50 回

(5) TCVB レポートでの情報発信

財団の活動を定期的に取りまとめ、賛助会員等に対して情報発信を行った。

- ・ 発信回数：28 回